

2021 年度日本建築学会大会（東海）

## 学術講演会研究発表梗概 応募要領

会場：名古屋工業大学およびオンライン

期日：2021 年 9 月 7 日（火）～10 日（金）

2021 年度日本建築学会大会（東海）は、2021 年 9 月 7 日（火）から 10 日（金）の 4 日間、名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）およびオンラインにて開催する予定です。開催方法の詳細については現在検討中ですので、最新情報や変更事項については、随時大会ホームページにてご確認ください。

また今大会より、各研究発表が貢献する SDGs の関連ゴールを選択いただきます。詳細は大会 HP からお知らせしますので、ご確認の上ご応募ください。

### **発表申込み期間：2021 年 2 月 15 日（月）～4 月 6 日（火）12 時（厳守）**

投稿時に講演発表者の会員資格（会員番号）が必要となりますので、未入会の方は余裕を持って入会手続きを行ってください。入会手続きが間に合わない投稿できませんので、くれぐれもご注意ください。

【重要】2021 年 3 月をもって論文予約会員制度が終了することに伴い、大会発表登録費の免除制度も廃止されます。したがって今大会より、従来の論文予約会員を含む、講演発表者ならびに共同発表者は全員、発表登録費をお支払いいただくことに変更となります。とくに共同発表者の方も発表登録費が必要であることを、事前に十分説明・確認のうえ投稿してください（名誉会員は除く）（[こちら](#)もご覧ください）。

応募にあたっては、下記事項に十分ご留意のうえご応募ください。

- 1) 講演発表者は正会員（個人）・準会員・名誉会員に限ります。  
ただし、講演発表者もしくは共同発表者に 2020 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2020 年度論文予約購読費未納者がいる場合は応募できません。
- 2) 学術講演会および建築デザイン発表会において、それぞれ 1 題（計 2 題）の講演発表が可能です。応募規程「3. 発表者の権利・義務」「10. 発表登録費」をご覧ください。
- 3) 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を納入しなければなりません（請求書を 6 月中旬ごろお送りします）。ただし、名誉会員は発表登録費を免除します。
- 4) 大会に参加する場合は発表登録費とは別に大会参加費が必要になります。
- 5) 学術講演会は、公開の場で発表し議論されることを目的としていますので、欠席は発表とは認められません。
- 6) 代理の講演発表は一切認められていません。ただし、学術講演会、建築デザイン発表会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）には、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って共同発表者による代理の講演発表を認めます。
- 7) 締切後の原稿の訂正は一切認められていません。
- 8) 原稿に不備がある場合は不採択となる場合があります。あらかじめ、応募規程「9. 研究発表梗概の採否」で送信用の原稿をよく確認してください。とくに「原稿執筆要領」以外の環境で作成された PDF ファイルは、図・表・写真等が正しく表示されない場合があります。原稿送信後は必ず「梗概集原稿の確認」画面から確認してください。
- 9) 「若手優秀発表賞」を設けて若手の学術講演を顕彰します。部門による実施の有無や審査方法については大会ホームページでお知らせします。
- 10) 本文の言語は、日本語のほか英語での投稿も受け付けます。英語の投稿サイトを設けますので、ふるってご応募ください。

電子投稿の大会コードは半角小文字で tokai です。

## 応募規程

1. **研究内容** 建築に関する学術・技術・芸術の最近の研究成果、または統計的資料、調査報告等で未発表のもの。ただし、「論文集」および本会「支部研究発表会」で発表したもの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、特に建築に関連の深いものはこの限りでない。

2. **応募・発表資格** 研究発表者（講演発表者および共同発表者）の資格は次による。

2.1 講演発表者（○印）は次のいずれかの条件を備えた者とする。

- a. 正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者
- b. 本会名誉会員
- c. 2020 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2020 年度論文予約購読費未納者は応募できない。

2.2 共同発表者（連名者）は次のいずれかの条件を備えた者とする。

- a. 正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者
- b. 本会名誉会員
- c. 2020 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2020 年度論文予約購読費未納者は応募できない。
- d. 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者

3. **発表者の権利・義務** 研究発表者の権利・義務は次のとおりとする。

a. 講演発表者（○印）は、大会学術講演会に出席し、一名 1 題、または建築デザイン発表会 1 題と併せて計 2 題の講演発表を行うことができる。

b. 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者による代理の講演発表は認めない。

c. ただし、学術講演会、建築デザイン発表会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（注 1）は、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って、代理の講演発表（注 2）を認める。学術講演については代理の講演発表は認めない。

（注 1）「発表時間帯が重なった場合」とは、半日単位で発表時間が重なった場合を指す。

（注 2）代理の講演発表は、正会員（個人）、準会員または名誉会員であり、当該建築デザイン発表の共同発表者に限って認める。該当する者がいない場合には、代理の講演発表を認めない。代理の講演発表は、一名 1 題を限度とする。

d. 共同発表者（連名者）は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。

e. 講演発表者の出席・欠席および c 項による代理の講演発表は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席および c 項による代理の講演発表の講演番号は本会ホームページにおいて公表される。

4. **発表部門** 発表部門は下記の 12 部門のいずれかとし、発表申込画面の所定欄に発表希望部門・細分類・細々分類を明示する（細分類・細々分類一覧は、大会ホームページに掲載する）。ただし、プログラム編成に際し、学術推進委員会において発表部門・細分類・細々分類を変更する場合がある。

1. 材料施工、2. 構造、3. 防火、4. 環境工学、5. 建築

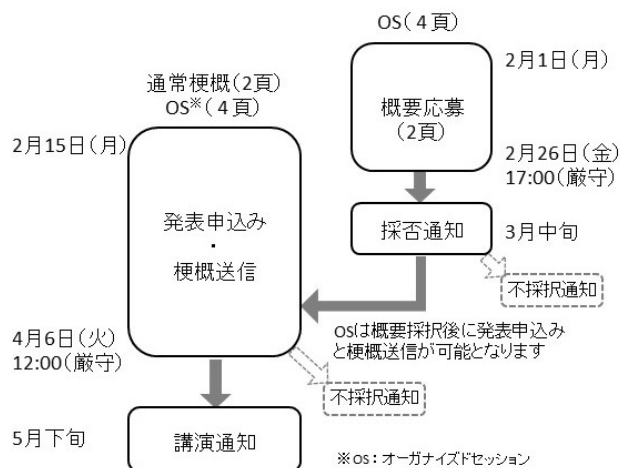


図 1 応募の流れ

計画、6. 農村計画、7. 都市計画、8. 建築社会システム、9. 建築歴史・意匠（建築論を含む）、10. 海洋建築、11. 情報システム技術、13. 教育

なお、いくつかの部門では、特定のテーマを指定して原稿を募集する特別なセッション（オーガナイズドセッション；OS）を実施する。詳細は「オーガナイズドセッション実施要領」を参照のこと。

5. **発表部門別注意事項**

a. **構造部門・環境工学部門**

連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければならない。

b. **建築計画部門**

①連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければならない。この場合、内容を適切に表したものを表題とすること。

②共通の総主題で通し番号のついた一連の研究は、同年度に 3 編以内とする。3 編以内の一連の研究はまとめて発表できるようにプログラム編成時に配置するが、3 編を超えるものについては 4 編目以降を不採択とするので注意のこと。

6. **応募方法** 大会ホームページからの応募（電子投稿）に限る。メール添付や CD-R・USB 等の郵送・持参は受け付けない。大会ホームページ上での発表申込および研究発表梗概原稿の送信をもって応募とする。縮切後の原稿の訂正は一切認めない。

7. **発表方法** 発表方法等の詳細については、学術推進委員会から連絡する。

8. **応募期間**

2021 年 2 月 15 日（月）から 4 月 6 日（火）12 時（厳守）

提出先：<https://www.aij.or.jp/jpn/taikai2021/>

9. **研究発表梗概の採否** 研究発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし大会学術講演会発表梗概として不適当と認められるものは採択しない。不採択となった場合は 5 月 20 日までに本人に通知する。なお、提出された原稿は一切返却しない。

a. 本文または図・表・写真等が著しく不十分または不完全なもの。

b. 原稿執筆要領に示されている文字数の基準を大きく逸脱したもの。

c. レイアウトが「原稿執筆要領」から著しく逸脱したもの。

または pdf 変換時に崩れたもの。

- d. 同一または類似の研究発表がすでに行われているもの。ただし、既発表の研究内容を前進させたものはこの限りでない。
  - e. 内容が商業宣伝に偏したもの（商品名の使用には注意すること）。
  - f. 他者を誹謗中傷する内容を含むもの。
  - g. その他、応募規程、執筆要領に反するもの。
10. 発表登録費 発表登録費は表-1による。ただし、留学生で会員の発表登録費は発表申込み時に申請があれば減額する。

- a. 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を請求書に記載の期限までに納入すること（請求書は採否決定後に送付される）。ただし、名誉会員は、発表登録費を免除する。

**【重要】論文予約会員制度が2021年3月をもって終了することに伴い、発表登録費の免除制度も廃止となります。したがって、従来の論文予約会員を含め、講演発表者ならびに共同発表者は全員、発表登録費をお支払いいただく必要がありますのでご注意ください（名誉会員は除く）。**

- b. 共同発表の発表登録費は、題数によらず1題分とする。
- c. 講演発表者（○印）は発表者を代表して共同発表者の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入がない場合は、当該研究の講演発表ができない。
- d. 発表登録費未納者は、2022年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。

表1 発表登録費

	名誉会員	正会員・準会員	留学生	会員外
1) 学術講演会で講演発表する者*	0円	9,000円	2,000円	— (発表不可)
2) 建築デザイン発表会で講演発表する者*	0円	9,000円	2,000円	— (発表不可)
3) 学術講演会/建築デザイン発表会の両方で講演発表する者*	0円	13,500円	3,000円	— (発表不可)
4) 共同発表者（口頭発表を行わない連名者）	0円	題数によらず 9,000円	題数によらず 2,000円	題数によらず 13,000円

\* 発表は、学術講演会、建築デザイン発表会で各1題まで発表可能（「3. 発表者の権利・義務」を参照）

11. 大会参加費 大会に参加する者は前記「10. 発表登録費」とは別に大会参加費を納入するものとする。

大会参加費および事前納入手続きについては本会ホームページおよび「建築雑誌」4月号に掲載する。

12. 梗概集 採択された研究発表梗概はDVD版大会梗概集（学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録）に収録し、「大会学術講演梗概集」として頒布する。なお、発表登録費納入者にはDVD版梗概集を無償で送付する。

### 13. 著作権

- a. 著者は、掲載された研究発表梗概の著作権の使用を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・

転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。

- b. 著者が、自分の梗概を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された梗概をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本会に申し出る。
- c. 編集出版権は、本会に帰属する。

14. 電子形態による公開 大会に発表された研究発表梗概は本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。

15. 講評 オーガナイズドセッションにあつては、大会終了後にセッション司会者による講評を本会ホームページに掲載する。

## 電子投稿要領

この要領を作成した時点以降の最新情報や変更事項については随時大会ホームページ上に掲載します。実際に申し込む前に確認してください。

大会コードは半角小文字で tokai です。

大会ホームページ <https://www.ajj.or.jp/jpn/taikai2021/>

### 1. 発表申込みの前に一入会ならびに会員番号、大会用会員外登録番号の取得

講演発表者およびすべての共同発表者に会員番号または大会用会員外登録番号が必要です。2021年度大会で研究発表するために新たに入会される方は、**応募時までには必ず入会手続きおよび入金金・会費の支払い手続きを済ませてください。**応募するためには研究発表者（会員外も含む）全員の会員番号または大会用会員外登録番号が必要です。次の方法により取得してください。

入会ならびに会員番号の取得：本会ホームページ（<https://www.ajj.or.jp/>）で入会手続きを行ってください。**入金金・会費の支払い手続きをされないと、入会手続きが完了しません。**

①インターネット経由で入会手続きを行う場合は、入金金・会費の支払い方法として「口座振替」を希望すると**Web上で会員番号を即時に取得できますが、「請求書払い」を希望すると入金後に会員番号が発行されますので、取得に10日間前後の時間がかかります。十分にご留意ください。**なお、正式な入会は理事会承認後になります。また、2021年2月下旬頃までにコンビニ決済を導入する予定です、コンビニで入金するとすぐに会員番号が発行されます。

②郵送またはFAXで入会手続きを行う場合は、入会申込書が事務局に到着後、**会員番号の取得に10日間前後の時間がかかりますので、できるだけインターネット経由で「口座振替」をご利用ください。**

大会用会員外登録番号の取得：本会ホームページ（<https://www.ajj.or.jp/jpn/taikai2021/>）で取得してください。

### 2. 発表申込み方法

- a. <https://www.ajj.or.jp/jpn/taikai2021/> から研究発表梗概応募を選んでいただくと、電子投稿のトップメニューが表示されますので、“発表申込み”を選んでください。
- b. 大会コードおよび講演発表者情報を入力し、「次へ」をクリックしてください。
- c. 登録画面が表示されますので、画面中の指示や例に従い、必要情報を入力します。
- d. すべて入力したら、「次へ」をクリックします。ここまでの入力内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は前

の画面に戻って修正します。登録内容の確認・修正ができましたら、「登録」をクリックします。

※この画面ではまだ登録されていませんので必ず「登録」をクリックしてください。

- e. 登録が正常に受け付けられると、登録完了画面が表示され、「受付番号」と「パスワード」が発行されます。登録内容は電子メールでも配信されます。今後の登録内容の確認・修正やPDF送信等に必要ですので、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。パスワードは英数半角文字で大文字と小文字の区別があります。

※電子メールの受信を必ず確認してください。電子メールが届かない場合は正常に登録されていない可能性があります。24時間以内に電子メールが届かない場合は、ホームページ内にあるFAQをご確認ください。

<注意事項>

- 1) 使用するブラウザは、Windowsの場合はInternet Explorer 11.0以降、Firefox 63以降を利用してください。Windows XPでInternet Explorerをお使いの場合、画面が表示されません。別のブラウザを利用いただくか、Windows 7以降のパソコンをご利用ください。
- 2) 申込締切間際は、大変な混雑が予想されます。できるだけ早い時期の申し込みをお願いします。
- 3) 会員番号および大会用会員外登録番号は、必須項目が入力されていない場合は発行されません。
- 4) 連続講演の申込みも1件ごとに発表申込みが必要です。
- 5) 携帯電話の電子メールアドレスの登録はご遠慮ください。後日、発表等に関する情報を送りますので、継続的に利用できる電子メールアドレスを登録してください。

### 3. 梗概集原稿 (PDF ファイル) の送信

- a. 電子投稿の画面から“梗概集原稿送信”を選びます。
- b. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- c. 発表申込みで発行された受付番号とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
- d. 参照ボタンを使って、送信対象のPDFファイルを指定し、送信ボタンをクリックしてください。
- e. 送信が正常に終了すると、受付終了画面が表示されると同時にPDFファイル送信完了をお伝えする電子メールが配信されます。応募期間内であれば、同一手順で差し替えができます。

<注意事項>

- 1) PDFファイル送信は、必ず発表申込みの手続きを済ませてから行ってください。
- 2) 1MBを超えるファイルは送信することができません。
- 3) 1件の発表申込みに対しファイル1件のみ送信できます。
- 4) 必ず発表申込みに対応したPDFファイルを送信してください。発表申込内容と異なるPDFが送信された場合は、申込みを取り消します。特に連続講演の場合、発表申込みと合致するよう投稿時には十分ご注意ください。
- 5) ファイルを差し替えると、以前投稿したファイルはファイル名が異なっても自動的に削除されます。

### 4. 送信したPDFファイルの確認

- a. 電子投稿の画面から“梗概集原稿の確認”を選びます。
- b. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。

- c. 発表申込みで発行された受付番号とパスワードを入力し、原稿確認ボタンをクリックします。
- d. 送信されたPDFを確認することができます。
- e. ファイルを差し替える場合は新規送信と同一手順で行ってください。

### 5. 発表申込内容の確認・修正

登録済の発表申込内容は、応募期間内であれば確認・修正ができます。

- a. 電子投稿の画面から“確認・修正”を選択します。
- b. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- c. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力し、「次へ」をクリックします。
- d. 登録されている内容が表示されます。修正する場合は下の修正ボタンをクリックします。
- e. 修正可能な画面に切り替わりますので、必要に応じて修正してください。修正した場合には下の「次へ」をクリックします。
- f. 再度確認画面が表示されます。確認後、下の「登録」をクリックしてください。ここで修正登録が完了します。修正登録後、再度メールが配信されます。

### 6. 発表申込みの取消し

登録済の発表申込内容は、応募期間内は取消しができます。

- a. 電子投稿の画面から“講演取消”を選択します。
- b. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- c. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力し、「次へ」をクリックします。
- d. 登録されている内容が表示されます。取り消す場合は下の取消ボタンをクリックします。
- e. 取消完了画面が表示されます。取消処理後、再度メールが配信されます。

## 発表申込み入力要領

ホームページ上の発表申込画面の指示に従って入力してください。

### 1. 全般的注意

日本語はすべてJIS第一水準、第二水準の漢字を使用してください。漢字の新旧字体が混合すると同一の論文、用語あるいは著者として検索できず欠落を生じるおそれがありますので注意してください。英語表記の際、大文字は文頭および固有名詞のみに用いてください。

### 2. 表題

日本語・英語の表題をそれぞれ入力してください。

共通する総主題のもとに連続する数編を発表する場合、主題は個々の発表内容を表現するものとし、総主題にはその1、その2などを付してください。記載する順番は、総主題、主題、副題の順とし、総主題を付ける場合、総主題と主題の間には「:」を挿入してください。

(例)

種々の摩擦材を用いた摩擦ダンパーの力学特性および制振効果  
その2: 剛塑性履歴を有するダンパーの最適設計手法

(例)

これからのワークスタイルに対応した Active Design に関する研究 その 7: 生理量と知的生産性の関係—研究概要、生理量分布およびアンケート結果

### 3. 本文の言語

日本語または英語とします。

### 4. 日本語著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順に入力してください。

### 5. フリガナ

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にカタカナで入力してください。

### 6. 英語著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にローマ字で入力してください。

### 7. 所属名称

発表時の所属名称を下記の要領で入力してください。所属には、部課名や肩書は入れないでください。

a. 機関名は特に指示のない限り省略しないでください。

(例)「東工大」とはせず、「東京工業大学」とする。

ただし、「株式会社」「財団法人」「Incorporated」「Limited」等は省略する。

(例)「株式会社日本建設」とはせず「日本建設」とする。

b. 所属が長い名称のときは、わかる範囲で部課名などを略称しても結構です。NTT など略称のほうがよく知られている場合は、略称でも結構です。

c. 著者の所属名称が欧文形のみの場合は、所属機関の所在地原語で英語所属名称の欄のみ入力してください。

### 8. 希望発表部門・連続講演

a. 発表を希望する部門・細分類・細々分類を「細分類・細々分類一覧表」により入力してください。

b. 本年度連続原稿がある場合は以下のように明示してください。

2 編のうちの第 1 編の場合 1/2

3 編のうちの第 2 編の場合 2/3

それぞれの申込みに 1 編目の発表者の会員番号を明示してください。

### 9. キーワード

キーワードの選択にあたっては、単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検索されるうえで最も効果的と思われる語を、日本語・英語とも 6 個以内を入力してください。

なお、キーワードとする用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本としますが、適当な語がない場合はこの限りではありません。

### 10. 研究発表申込書の入力方法についての問合せ先

事務局事業グループ 電話 03-3456-2057 (直通)

E-mail: 2021kougai@aij.or.jp

## 原稿執筆要領

研究発表梗概原稿は、原稿執筆要領にしたがって執筆してください。図 2 のレイアウト見本ならびに大会ホームページの書式例を参照してください。

### 1. ファイル形式

電子原稿は Adobe Reader で表示および印刷可能な PDF

(Portable Document Format) ファイルで提出してください。

### 2. ファイルサイズ (容量) の制限

ファイルサイズは **1MB 以内** とします。1MB を超えると受信いたしません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

### 3. ファイル名について

必ず拡張子 (.pdf) がついているファイルをお送りください。

### 4. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OS は Windows 7 以上または Mac OS10.12 以上を推奨します。

### 5. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat DC 以降 (または同等品) を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

Acrobat の詳細については<https://www.adobe.com/jp/> をご覧ください。

### 6. 用紙設定

白地の A4 判 2 ページとします。横書き 2 段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン 25mm、下マージン 22mm、左右マージン 15mm、1 段を 87mm (段の間隔 6mm)、1 ページあたり 48 行、1 行あたり 25 文字を基準 (文字の大きさ 9.5 ポイント相当) として設定してください。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合があります。

Microsoft Word (Windows 版、Mac 版)、Adobe InDesign (Windows 版、Mac 版) のテンプレートを大会ホームページ上で提供するので、必要に応じて利用してください。

### 7. 文字

日本語は JIS 第一水準、第二水準の漢字を使用してください。本文書体は日本語は明朝体、英語は Times New Roman を用いることが望まれます。なお、投稿された PDF ファイルは Windows または Mac 上で稼働する DVD に掲載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Mac (OS10.12 以上)
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	MS 明朝、MS ゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF 作成時にフォントの埋込みを行ってください。

### 8. 記載方法

#### a. 1 ページ目上段

- 1 ページ目上段に表題、会員種別・発表者名、キーワードの順に記載する。
- 表題は第 1 行に、本文より大きな文字で書く。
- 会員種別・発表者名 (連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける) は上段右側に寄せて書く。
- キーワードは上段左側に寄せて書き、キーワードと本文の間は 1 行あける。

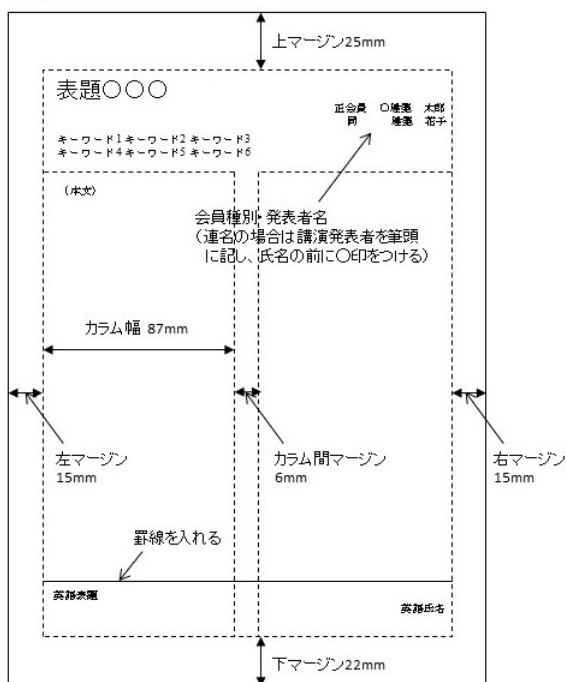
#### b. 1 ページ目下段 (英語表題・英語発表者名)

- 記載欄と文の間に罫線を引く。
- 英語表題英語発表者名の順に記載する。
- 英語表題は左側に、英語発表者名は右側に寄せて書く。
- 英語講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

#### c. 2 ページ目下段 (日本語所属・英語所属)

- 記載欄と本文の間に罫線を引く。
- 日本語所属 (・学位)、英語所属 (・学位) の順に記載する。

## 1頁目



## 2頁目

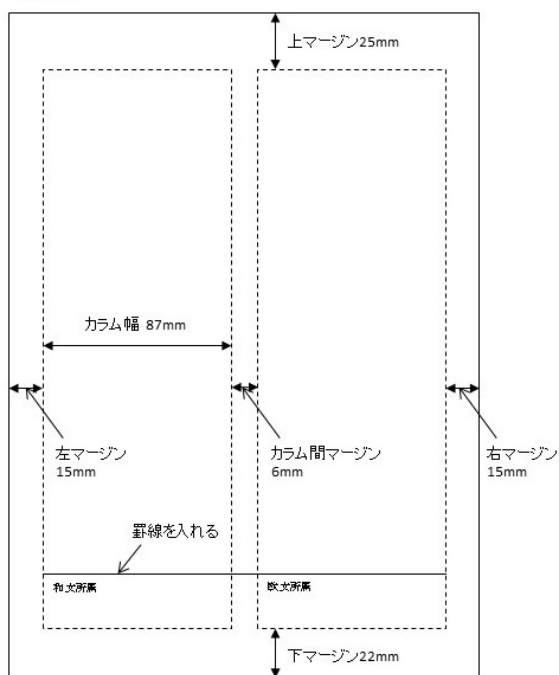


図2 レイアウト見本

※上記は、本文が日本語の場合のレイアウト見本です。本文が英語の場合は、以下のとおり作成してください。

- ・1枚目上段の「表題」「会員種別・発表者名」「キーワード」も英語で記載してください。
- ・罫線より下は、以下のとおり記載してください。
  - 1頁目 左段：日本語表題 右段：日本語氏名
  - 2頁目 左段：英語所属 右段：日本語所属

- ・日本語所属は左側に、英語所属は右側に寄せて書く。
- ・所属がない場合は“フリーランス”と表記すること。

## 9. キーワード

研究発表申込画面に入力したものと同一日本語キーワード3～6個を必ず記載する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

## 10. 図・表・写真等

図・表・写真等は適当と思われる場所にレイアウトする。図・表・写真等は原稿に貼り付けた状態でPDF化し、別ファイルにはしない。図・表・写真等の引用・転載にあたっては、著者自身が原著者などの著作権所有者から許可を得ること。

なお、原稿本文中に関連するサイトのQRコードを示すことは認めないが、参考文献中にサイト名とURLを記載することは構わない。

## 11. 色使い

本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色使いの制限は特にありません。

## 12. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください。

## 13. 印刷の確認

作成したPDFファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認してください。

## オーガナイズドセッション実施要領

大会における学術講演の活性化を図る手段として、大会ごとに各部門で特定のテーマを指定し、そのテーマに応募した原稿を審査し、その発表を行う特別のセッション（オーガナイズドセッション；OS）を実施します。

### 1. 応募方法

オーガナイズドセッションの応募者は講演発表者（○印）とします。通常の講演梗概と同程度の概要原稿（図・表・写真等を含む）のPDFファイルを、期限までにホームページからご提出ください。

（注）概要原稿の提出方法は、電子投稿のみとなっておりますので、ご注意ください。概要原稿の体裁は問いませんが、できれば通常の梗概原稿の体裁に合わせてください。

### 2. 概要原稿提出期限

**2021年2月26日（金）17:00（厳守）**

### 3. 梗概原稿提出先

ホームページ <https://www.aij.or.jp/jpn/taikai2021/>

「オーガナイズドセッション申込み」を選び、画面の指示に従って必要事項を入力の上、原稿を提出してください。

### 4. 概要審査と完成原稿の提出

- テーマを設定した調査研究専門委員会が、応募原稿の中からオーガナイズドセッションの講演梗概としてふさわしいものを審査し、その結果を応募者に通知します。
- 採択された概要原稿の応募者は、講演梗概用の原稿を4ページの講演梗概として改めてまとめ直してください（ファイルサイズ**2MB以内**）。なお、概要採択後の講演発表者（○印）の変更は認められません。
- 採択された応募者（講演発表者）は、一般の講演梗概

の応募期間内に「電子投稿要領」に従って、発表申込みおよび梗概の送信を行ってください。

- d. 応募の少なかったテーマは実施しない場合があります。その場合は応募者に連絡をしますので、あらかじめ一般講演に応募してください。

#### 5. 完成原稿の取り扱い

- a. オーガナイズドセッションの講演梗概は、採択された部門の DVD 版梗概集に収録します。
- b. 発表時間は、一般の発表時間よりも長く（2 倍程度）設定します。
- c. 採択され梗概集に掲載されたものは、「選抜梗概」と称します。

#### 6. 講評

大会終了後にセッション司会者による講評を本会ホームページに掲載します。

#### 7. 実施部門とテーマ

##### 構造部門

#### a. 植物の力学的最適化戦略に基づく構造システムの探索と応用：植物構造オプト

木造建築は主に樹木の死んだ組織を製材し、板や通直材の形で利用する。一方、生きている植物は立体的な空間構造となっており、ゆっくりと環境に適応する能力を持っている。「バイオメテックス」等の生物模倣技術の研究開発も行われているが、細胞や生体が長時間かけて多様な環境因子に自律的に応答するメカニズムの応用にまで踏み込んだ研究は少ない。本 OS では、生きた植物の持つ自律的な応答・適応機能から学び、建築構造への応用につなげることを目指している研究を中心に紹介する。また、文部科学省科学研究費新学術領域「植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成」（2018～22 年度）の研究活動とも共働連携することで分野横断的な研究上の効果を上げつつ、一定の参加者を確保する。

##### 防火部門

#### a. 新たな火災安全性能評価手法の提案

昨今、防耐火をはじめとする建築火災安全に関わる様々な検証方法が整備されてきている。火災安全性能の定量化や火災性状等の予測手法は、設計者が火災時の各種対策の有効性を理解し、また新しい空間や価値の創造、火災安全技術の向上を図る上で不可欠である。そこで本 OS では、在館者の避難行動、消防活動、煙拡散防止、延焼防止等に関する新たな火災安全性能の定量化や可視化、さらには火災性状等の予測等に関する最新の研究等を募集する。

##### 環境工学部門

#### a. 在宅勤務・リモートワークにおける環境評価とストレス緩和

COVID-19 への対策として普及した在宅勤務・リモートワークは、オフィスに限定されていた働く場の研究に新たな課題をもたらしている。長時間の在宅勤務は住宅への性能要求を広げ、通信に依存するリモートワークは、他者とのつながり方の再検討につながっている。また、長時間の通勤からの解放は、住環境やライフスタイルに新しい考え方をもたらす可能性もある。そこで従前の住環境評価やストレス研究をあらためて見直すとともに新たな状況についての知見も共有する必要がある。本 OS は、このよ

う様々な点を集中的に議論する場としたい。[環境心理生理、光環境]

#### b. 建築空間の音環境整備と吸音

健康で安全、快適な生活を考えたとき、建築空間における音環境の整備は欠くことができない。なかでも、建築空間の設計において“吸音”は基本的な要素と考えられるが、音環境に対する認識不足、設計規準や指針の未整備に伴う軽視、デザインやコストとの兼ね合い等により、吸音が不十分で音環境が損なわれている建築空間がしばしばみられる。本 OS では、様々な建築空間における音環境の実態（吸音不足）、音響設計における吸音の必要性、吸音効果による音環境向上事例などをはじめとする話題を提供していただき、建築空間における音環境整備と吸音の重要性を発信する場としたい。[音環境]

#### c. Low-carbon building techniques in the post-pandemic on the Global South

By 2050, more than 68% of the world population will be living in urban areas, of which a majority is concentrated on the Global South. Most cities in the Global South experience rapid urbanization along with the economic growth. Meanwhile, the prolonged Corona Pandemic poses drastic changes in socio-economic conditions and even in their daily life. It is important to discuss how we can achieve low-carbon societies in the drastic social changes. This session invites latest studies that discuss low-carbon techniques in the post-pandemic on the Global South. [環境設計]

#### d. 物質移動と伝熱の連成モデル

本 OS では物質移動と伝熱が連成される現象について取り扱う。例えば、熱・水分の同時移動やすきまを移流する湿り空気がもたらす湿害、ほこり、化学物質、ウイルスの移動に伝熱が及ぼす影響等、建物の耐久性や室内環境に影響を与える多くの現象が物質移動と伝熱の連成のなかで起こっていると考えられる。また、この分野のシミュレーションはまだ未開拓な分野が多い。そこで、本 OS では、建物の周辺で生じている物質移動と伝熱の現象について議論を行う。シミュレーションモデル、現象の観察結果、実験結果などがトピックとして考えられる。[熱環境]

#### e. 温湿度環境と熱ストレス・健康影響評価

暑熱・低温環境下における熱ストレスやヒートショック、低湿度環境下での乾燥、カビの発生、疾病発症の季節変動など、温湿度環境が健康に関与していると思われる事象が存在し、それらについての研究が進められている。そこで本 OS では、フィールド調査、被験者実験、数値シミュレーションなど、温湿度環境の健康への影響に関連する研究発表を広く募集し、現状の把握と今後の可能性等について活発な議論を行いたい。[熱環境]

#### f. 人と環境とバイオクライマティックデザイン

バイオクライマティック（Bio-climatic）デザインとは、地域の気候特性を活かすパッシブデザインに人の感覚や行動と環境との応答を加え、「人と環境の変化との関係」を軸に人・建築・環境・地域が連続した関係を現したものである。今回のコロナ禍を踏まえた最新の研究事例を通し、これからの社会におけるバイオクライマティックデザインのあり方について、意匠・計画・環境工学など多様な分野が横断的に話し合う場を設けたい。[熱環境]

### g. 建築・都市熱環境に関する将来構想

新しい科学技術で建築や都市はどのように変わっていくだろうか、様々な想い描く将来は心弾ませる。一方、気候変動や、かつてない規模での自然災害、新型コロナウイルスの流行など、建築・都市を取り巻く環境は、我々の想像を超える変化を見せている。将来を予測することは困難であるが、現在取り組まれている様々な研究活動は、将来のより良い建築・都市熱環境を創造するにあたり決して無力ではない。過去、現在の建築・都市熱環境を踏まえうえで、将来のより良い環境創造に求められるであろう熱環境技術について議論する。[熱環境]

### h. 新型コロナ対策と室内環境

2019 年末中国で始まった新型コロナ（SARS-CoV-2）感染症（COVID-19）のパンデミックは、2020 年 4 月 7 日に我が国でも緊急事態宣言が発出されるに至った。翌月 25 日には解除宣言が出されたが、国内感染は依然続いており、経済・社会活動の制約、市民の意識と行動の変化、3 密を避け換気を励行するなど、飛沫・接触・エアロゾル（空気）感染を防ぐための様々な対策が取られている。本 OS では、室内空間における新型コロナウイルスの挙動（発生、伝播、感染、不活）、実態と対策、そして課題に関する内容を建築環境工学的見地から総合的に議論する。[空気環境]

### i. 環境建築の設計・運用条件を考える

環境建築の時代の到来といえるが、設計に当たり定められるべき条件が曖昧なことが多い。そこで本 OS では、設計の視点から、あるいは実測の視点、研究の視点などから設計・運用条件を再検討することを試みる。例えば、外気導入制御を取り上げると、外気冷房のときの室内条件、外気許容条件、自然通風のときのそれらの条件、その上に全熱交換器の運転条件、CO<sub>2</sub> 制御などが重なったときに運転はどうあるべきかなど、検討事項は多い。その他として、自然採光、太陽光発電、地中熱利用等々、環境建築を取り巻くエネルギー環境技術は多士済々であるので、それらの運用について討議したい。多くの投稿を期待する。[建築設備]

## 建築計画部門

### a. 建築 DIY・利用者コミュニティによるデザイン

気候変動や社会的分断といった現代の危機の原因の基底には資本主義の問題がある。市場経済への依存から抜け出して、オルタナティブな社会を構想し生み出すことは喫緊の課題である。一方で今日、情報技術による知識やスキルの共有や生産手段の共有によって、利用者たちが建築を自らデザインし生産することが容易になりつつある。それはどのようにオルタナティブな社会の構築に寄与するのだろうか。この OS では、DIY (Do it yourself) /DIWO (Do it with others) による建築設計の方法論、課題、そして可能性について議論したい。

### b. 時間の中の構法

新たな材料や技術の登場によって建築表現が刷新されたり、社会とともに建築生産システムが変容したりすると、構法にも変化が生じる。その意味で構法は、建築を取り巻くさまざまな状況を物的に記録する一種のメディアであると捉えることができる。

本 OS では、これまで現代を対象とすることが多かった構法計画に、歴史的視点を積極的に導入し、構法とその生成の原理を、より立体的に把握することを試みたい。建築計画分野ばかりではなく、建築史分野等からもふるってご応募いただき、領域横断的

な議論が展開されることを期待している。

## 都市計画部門

### a. 大学キャンパスが都市空間に貢献する新たな関係を見出すための計画とは？

感染症の蔓延や災害により都市における行動変容や意識変化が起き、既存の空間計画やマネジメントの方法論の見直しが求められる。特に人々が集まる共有空間などのあり方が問われている。大学キャンパスでは、様々な活動を許容する共有空間を空間構成の骨格としてきたことを捉えると、都市デザインにも、大学キャンパスで得られた知見の応用が注目される。本 OS では、研究、論考、事例など幅広い投稿によって、議論を深めたい。

### b. 持続可能な地域観光に向けたプランニングの検討

新型コロナウイルスの流行による観光への影響は、観光の持つ脆弱性を露呈することとなった。観光公害やオーバーツーリズム等の発生により、以前から持続可能な観光のあり方は検討されてきたものの、新型コロナウイルスの流行はその必要性と共に地域主体のマネジメントの困難さが示されたと言える。そこで、本 OS では、持続可能な観光を目指す地域主体の取り組みについて、歴史的視点に基づく研究や国内外の事例、理論研究を広く募集する。

### c. 空き地から始まるまちづくりの展開

人口減少時代に伴って常態化する空き地におけるまちづくりが広がっている。公園、河川敷、公開空地など多様な空き地にはまちづくりの特性に応じた柔軟な活用方法がみられる。一方、中長期的なまちづくりの展開に向けて、時間軸や空間的連鎖を考慮した空き地の計画論が期待される。本 OS では空き地におけるまちづくり活動やその空間利用、多様な主体の関わり方や活動の発展プロセスなどに関する発表を募集し、活発な議論を行いたい。

### d. コロナ禍を発端とした生活様式変容と住環境計画への影響

コロナ禍により、生活様式や生活行動様式が変化し、住空間や近隣環境、日常生活空間、住宅立地構造に対するニーズが変化している。例えば、職場との関係性、情報技術の発展、コミュニティ変容、自然環境への志向性変化などが想定される。本 OS では、コロナ禍に端を発した日常生活様式の変化や住環境に関連する生活行動様式の変化に関連する調査研究、住環境空間や住環境計画として新たに考えるべき課題や計画論を募集する。

### e. 拠点地域のデザインと都市再構築に向けたプランニング理論と技術

人口減少時代にあって、都市計画マスタープラン等各種プランに描かれる都市拠点の地域像とその実現方策には、これまでとは異なった視点と方法論が必要とされている。都市全体を持続可能な構造・市街地空間へと再編するとともに、その核となるべき拠点地域を再構築するためには、単なる「縮小」ではないプランニング理論とその実現に向けた技術の拡充が求められる。本 OS では、その知見に有用となる発表を広く募集する。

## 農村計画部門

### a. 新型コロナ感染症パンデミックと農村の地域づくり

新型コロナウイルス感染症の流行は、主体性をもって長年にわたり農村のあり方を創造的につむいできた地域に、様々な影響を



与えている。大都市集中とグローバリズムを前提とする社会生活の課題が顕在化し、農村回帰も改めて提唱されている。同時に、実際の農村では従来の営みや集合的活動が困難になったこともあれば、地域の底力の再確認となったこともある。地域は常に多様な人々と自然のつながりの中にある。感染症の影響を受けて、つながりが柔らかく次のかたちへと推移していただろうか、各地のこの一年余の経験を新たな社会のあり方へと位置づける議論を行いたい。

#### 7. オーガナイズドセッションについての問合せ

事務局事業グループ 電話 03-3456-2057（直通）

構造担当	: 中村
防火担当	: 中村・大久保
環境工学担当	: 一ノ瀬・伊佐野
建築計画担当	: 及川
農村計画担当	: 伏見
都市計画担当	: 榎本

## 2021 年度大会細分類・細々分類一覧

研究発表申込みにあたっては、発表希望部門・細分類・細々分類を明記してください。建築歴史・意匠、情報システム技術の各部門には細々分類はありません。

部 門	細 分 類	細 々 分 類
1. 材料施工	1. コンクリート用材料	a. セメント b. 骨材 c. 水 d. 化学混和剤 e. 混和材 f. 繊維・新素材 g. その他
	2. モルタル・コンクリートの物性	a. フレッシュ時の物性 b. セメント硬化体の組織構造 c. 強度・力学的性質 d. 収縮・クリープ e. アルカリシリカ反応 f. 凍害 g. 中性化 h. 腐食・防食 i. 汚れ j. 耐久性一般 k. その他
	3. 鉄筋コンクリート工事の施工・管理	a. 鉄筋工事 b. 型枠工事 c. かぶり厚さ d. 打込み・打継ぎ e. 養生 f. 試験・検査法 g. 寒中コンクリート工事 h. 暑中コンクリート工事 i. その他
	4. 特殊仕様のコンクリート	a. 軽量コンクリート b. 流動化コンクリート c. 高流動コンクリート d. 高強度コンクリート e. プレストレストコンクリート f. プレキャストコンクリート g. マスコンクリート h. 水密コンクリート i. 海水の作用を受けるコンクリート j. 水中コンクリート k. 凍結融解作用を受けるコンクリート l. 遮蔽用・原子力発電所施設用コンクリート m. ポリマーセメントコンクリート n. 再生骨材・再生コンクリート o. 繊維補強コンクリート p. CFT コンクリート q. 環境対応型コンクリート r. その他
	5. 無機系材料・工法・工事	a. メーソソリー b. 石・張り石工事 c. 左官 d. タイル e. ALC・成形セメント板 f. ガラス g. 汚れ h. その他
	6. 鉄骨製作・鉄骨工事・金属系材料	a. 鋼材 b. 高力ボルト・ボルト・アンカーボルト c. 金属材料 d. 溶接材料、溶接条件・施工 e. 溶接ロボット f. 加工・製作 g. 工事現場接合 h. 工事現場施工 i. 鉄骨構法 j. 金物工事 k. 塗装・めっき l. 耐火被覆 m. 試験・検査法 (非破壊検査・寸法精度検査) n. その他
	7. 有機系材料・工法・工事	a. 木材・木質系材料 b. 木工事 c. 塗料 d. 塗装工事 e. プラスチック f. その他
	8. 防水材料・工法・工事	a. メンブレン防水材料 b. シーリング材 c. 防水設計・施工 d. 雨仕舞 e. その他
	9. 工事・品質管理	a. 工程計画・管理 b. 品質管理 c. 安全管理 d. 生産性 e. その他
	10. 仮設・山留工事	a. 仮設計画 b. 仮設工事 c. 仮設機械 d. 山留工事 e. その他
	11. 土・地業工事	a. 土工事 b. 地業工事 c. その他
	12. 機械・ロボット工法	a. 機械・ロボット開発 b. 工業化工法 c. 自動化工法 d. 情報化施工 e. 解体・リニューアル工法 f. その他
	13. 耐久計画・耐久設計	a. 建築物の長寿命化・耐用年数 b. 材料・部材の高耐久化・耐用年数 c. 耐用年数予測手法 d. 耐久計画・耐久設計例 e. その他
	14. 改修・維持保全	a. 維持保全計画・維持管理 b. 試験方法・調査・診断 c. 鉄筋コンクリート造躯体の補修・改修 d. 鉄骨造躯体の補修・改修 e. 木造躯体の補修・改修 f. 仕上材の補修・改修 g. 防水の補修・改修 h. 補修・改修事例 i. その他
	15. 解体	a. 解体工事 b. その他
	16. 地球環境・資源	a. エコマテリアル b. リサイクル・リユース c. 廃棄物・バイオマス d. ライフサイクルアセスメント (LCA) e. 環境配慮・低炭素 f. ジオポリマー g. その他
	17. 部位別材料・仕上げ・性能評価	a. 屋根 b. 外壁 c. 内装 d. 床 e. 開口部 f. 断熱・遮熱材料 g. 吸音・遮音材料 h. 汚れ i. その他
	99. その他	
	2. 構 造	1. 荷重・信頼性
2. 振動		a. 地震被害・被害評価 b. 震源・伝播特性 c. 地盤震動 d. 強震動予測・設計用地震動 e. 被害予測・地震防災 f. 動的相互作用・杭基礎応答 g. 建物応答特性とその評価 h. 振動実験・観測 i. 免震 j. 制振・制震 k. ヘルスモニタリング l. その他
3. 応用力学・構造解析		a. 力学基礎理論 (変分原理・エネルギー原理・連続体・離散系・構造要素・構造物・熱関連問題) b. 数値解析法 (FEM・BEM・モード重量法・剛体-ばねモデル) c. 波動・振動解析法 d. 流れ場解析法 e. 材料の力学 (構成則・破壊力学・マイクロメカニクス・材料工学) f. 臨界現象・限界状態の力学 (安定論・座屈解析・分岐理論・極限解析・非線形解析・崩壊挙動解析) g. 設計力学・理論 (最適設計・応答制御設計・形態解析・システム数理) h. 逆問題 (システム同定) i. 確率論・信頼性解析 j. 構造計画 k. 架設計画 (施工計画) l. 衝撃解析・設計
4. 基礎構造		a. 土の性質・調査 b. 地盤改良 c. 地盤の支持力 d. 連続地中壁 e. 杭 (鉛直) f. 杭 (水平) g. 併用基礎 h. 沈下 i. 液状化 j. 動的問題 k. 地盤アンカー l. 山留め m. 地盤環境問題 n. 小規模建築物基礎 o. その他
5. 原子力プラント		a. 耐震設計 b. 振動試験 c. 地震観測 d. 免震・制振設計 e. 免震・制振実験 f. 構造設計 g. 構造実験 h. SC 構造 i. CCV j. 廃炉技術 k. その他

6. シェル・空間構造	a. シェル構造 b. 立体トラス・立体骨組構造 c. 膜構造 d. ケーブル・ハイブリッド構造 e. 構造イノベーション f. 構造デザイン・構造形態創生 g. ガラス・木・紙・その他の新素材 h. 集客施設の天井・非構造材 i. その他
7. 木質構造	〔材料・部材〕 a. 材料特性 b. 部材性能 〔耐久性〕 c. 腐朽・蟻害 〔接合部〕 d. 接合具 e. モーメント抵抗接合 f. 継手・仕口 g. 柱頭柱脚接合部 〔耐力壁〕 h. 筋かい壁 i. 面材壁 j. 土塗り壁 k. 板壁・面格子壁 〔屋根・床〕 l. 屋根構面 m. 床構面 〔基礎関係〕 n. 基礎・転倒 〔大規模木造〕 o. 大規模木造 〔新工法〕 p. 新工法・特殊構法 〔実大建物挙動〕 q. 実大静加力実験 r. 振動台実験 s. クリープ・振動障害 t. 静的立体・振動解析 〔免震・制振〕 u. 免震・制振 〔設計法〕 v. 荷重・応答予測法 w. 部位設計法 x. 耐震設計法〔調査〕 y. 被害調査 z. 実情・実態調査 〔伝統構法〕 A. 伝統部位・構造要素 B. 伝統建築物特性・設計法〔診断補強〕 C. 住宅耐震診断・補強 D. 伝統建築耐震診断・補強〔その他〕 E. 地球環境問題 F. その他
8. 鉄筋コンクリート構造	〔材料〕 a. コンクリート b. 鉄筋 c. 新素材 〔基本特性〕 d. 継手 e. 付着・定着 f. せん断 g. 構成則・解析法 h. あと施工アンカー・スタッド i. その他 〔部材（プレキャストを含む）〕 j. 梁 k. 柱 l. 耐震壁 m. スラブ n. 非構造壁 〔接合（プレキャストを含む）〕 o. 梁柱接合部（交差部） p. 部材接合部 q. その他 〔骨組・構法（プレキャストを含む）〕 r. 骨組 s. 設計・性能評価 t. 解析法 u. 免震・制震・制振 v. 基礎・杭・杭頭接合部 w. 相互作用（基礎と上部構造等） x. その他 〔既存建物〕 y. 震害 z. 耐震診断 A. 耐震改修・空間拡大 B. 耐震補強（柱・梁・接合部・その他） C. 耐震補強（壁・プレース） D. 耐震補強（外付け・架構） E. 免震・制震補強〔その他〕 F. 地球環境問題（3R・CO <sub>2</sub> ） G. 型枠・施工法 H. その他
9. プレストレストコンクリート構造	〔材料〕 a. 材料・新素材 〔部材〕 b. 梁・柱・壁 c. 合成部材（合成スラブ） d. アンボンド部材 e. プレキャスト部材 f. プレストレスト鉄筋コンクリート（PRC）部材 g. PC杭 〔ひび割れ〕 h. ひび割れ評価および制御 〔接合〕 i. 梁柱接合部（仕口部） j. 圧着接合部 k. 部材接合部 l. 定着部 〔骨組・構法〕 m. 新構工法 n. 組み立て（PCaPC）架構 〔設計・解析〕 o. 動的挙動 p. 設計・解析法 q. 弾塑性挙動 〔耐震補強〕 r. プレストレスを用いた耐震補強工法 〔その他〕 s. 地球環境問題（長寿命建築） t. 耐火性（架構・部材・材料） u. 施工 v. 施工管理手法 w. その他
10. 鉄骨構造	〔設計法〕 a. 設計法 〔素材特性〕 b. 素材特性 〔接合要素〕 c. ボルト・高力ボルト d. 溶接 e. その他 〔接合部〕 f. 柱梁接合部 g. パネル h. 継手 i. 柱脚 j. トラス接合部 k. その他 〔部材〕 l. 引張材 m. 圧縮材 n. 梁材 o. 柱材 p. 床材 q. 2次部材 r. その他 〔耐震要素〕 s. プレース t. 耐震壁 u. その他 〔骨組〕 v. 平面骨組 w. 立体骨組 x. 振動 y. その他 〔製作・施工法〕 z. 耐震補強 〔その他〕 A. 地球環境問題 B. その他
11. 壁式構造・組積造	a. 設計法・解析法 b. 壁式鉄筋コンクリート造（プレキャストを含む） c. 鉄筋コンクリート組積造 d. 補強組積造 e. 枠組組積造 f. 混合構造 g. 無筋組積造（れんが造・石造等） h. コンクリートブロック塀・その他の塀 i. 耐震診断・補強・躯体改造 j. 免震 k. 地震被害・その他の被害 l. 地球環境問題 m. 海外の組積造 n. 厚肉床壁構造 o. モニタリング・動的相互作用 p. 新素材・新構法 q. その他
12. 鋼・コンクリート合成構造	a. 鋼・コンクリート合成構造全般（震害・設計法・解析法・構造計画・免震・制震・地球環境・その他） b. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 c. 鋼管コンクリート構造 d. 混合構造（柱 RC 梁 S 構造・端部 RC 中央 S 梁等） e. 鉄骨コンクリート構造（CES 構造・SC 柱・SC 梁等） f. 鋼・コンクリート合成パネル（SC 壁・合成パネル・サンドイッチパネル等） g. FRP や木質材料等を用いた合成構造（FRP 構造・木質複合構造・繊維補強コンクリート等） h. 耐震診断・補強（鋼材を用いたコンクリート系構造物の補強を含む） i. 鋼材とコンクリートの接合部 j. その他の合成構造（座屈拘束プレース、合成床等）
99. その他	
3. 防 火	1. 材料・物品の燃焼性 a. 材料等の燃焼性 b. 各種物品の燃焼性 c. 材料等の試験法 d. その他

	2. 火災・煙流動性状	a. 火災・ブルーム性状 b. 区画火災性状 c. 盛期火災・噴出火災性状 d. 煙流動性状 e. 煙制御 f. その他
	3. 避難安全	a. 覚知と避難開始 b. 避難行動特性 c. 避難シミュレーション d. 避難設計法 e. その他
	4. 防・耐火性	a. 金属系構造・材料 b. 鉄筋コンクリート系構造・材料 c. 木質系構造・材料 d. 合成構造およびその他の構造・材料 e. 区画部材 f. 防・耐火設計法 g. 防・耐火試験法 h. 火害診断・補修 i. その他
	5. 防災設備	a. 感知・通報 b. 火災拡大抑制 c. 避難誘導・避難器具 d. 消防活動支援 e. その他
	6. 安全設計・安全性評価	a. 火災事例・火災統計 b. 火災リスク・火災安全性評価 c. 火災安全設計 d. 総合防災 e. その他
	7. 都市火災・広域災害	a. 都市火災性状 b. 広域避難 c. 災害対応 d. その他
	99. その他	
4. 環境工学	1. 環境心理・生理	a. 感覚・知覚心理(音・熱・光・空気・複合環境) b. 生理指標評価(脳波・心拍等) c. 空間の知覚・印象 d. 景観・街並み・サウンドスケープ e. 空間認知・経路探索 f. パーソナルスペース・プライバシー g. 利用者ニーズ・価値観・ライフスタイル h. POE(満足度・知的生産性等) i. 住意識・コミュニティ・合意形成 j. 子供・高齢者・障害者 k. 理論・手法 z. その他
	2. 室内音響・音環境	a. 室内音響設計 b. 室内音響理論 c. 数値解析(室内音場) d. 音響材料・工法(吸音・拡散) e. 主観評価 f. 音声伝送・スピーチプライバシー g. 音環境調査・評価(屋内) z. その他
	3. 環境騒音	a. 音環境調査・評価(屋外) b. 音源(屋外) c. 伝搬(屋外) d. 低周波音(屋外) e. 数値解析(屋外伝搬) z. その他
	4. 騒音・固体音	a. 騒音源(建物内外) b. 騒音伝搬(建物内外) c. 遮音 d. 遮音材料・工法 e. 固体音・防振 f. 床衝撃音 g. 気流騒音・消音器 h. 低周波音(屋内) i. 騒音評価(屋内) j. 数値解析(遮音・固体音・床衝撃音) z. その他
	5. 環境振動	a. 振動源 b. 加振力 c. 地盤振動 d. 振動伝搬 e. 建物・床振動 f. 振動制御(防振・制振・免振等)・対策 g. 振動予測・解析 h. 振動感覚・性能評価 i. 振動実験・測定法 j. 設計法 k. 振動対策 z. その他
	6. 光・色	a. 光源(日光・人工光・LED・有機EL) b. 照明制御・照明方式 c. 昼光利用 d. 測光・測色 e. 計算(シミュレーション・BIM) f. 実測・調査 g. 健康・生理特性 h. 視覚・色覚特性 i. 高齢者・ロービジョン j. グレア・明視性・作業性 k. 明るさ感・雰囲気・印象 l. 色彩・質感 m. サイン・誘目 n. 景観 o. 照明デザイン p. 演出照明 q. 省エネルギー(ZEB・ZEH) z. その他
	7. 電磁環境、電気設備・電磁波応用技術	a. 基礎理論 b. 計測評価(シールド性能評価、電磁環境計測法など) c. 電磁環境(ICT/IoT無線通信環境、無線情報セキュリティなど) d. 磁気環境(低周波電磁界、中間周波数帯利用、ワイヤレス給電・無線電力伝送など) e. 材料施工 f. 伝導ノイズ(PLC、ラインノイズなど) g. 雷害対策(電気接地、電気絶縁など) h. 放射線環境 i. 電磁環境教育・普及 z. その他(電磁波応用技術など)
	8. 熱	a. 伝熱基礎・伝熱解析 b. 熱物性 c. 測定技術 d. 気象データ e. 断熱 f. 遮熱・日射熱取得 g. 蓄熱・蓄冷 h. 蒸発冷却 i. 通風・換気 j. 気密・漏気 k. 部位(壁・窓・屋根・出入口など)の熱性能・エネルギー性能 l. 住宅の熱性能・エネルギー性能 m. 非住宅の熱性能・エネルギー性能 n. 熱負荷解析 o. 熱性能評価・熱環境評価指標(PAL*・エクセルギー評価を含む) p. 熱環境シミュレーション q. 住宅の温熱環境 r. 非住宅の温熱環境 s. 屋外・半屋外空間の温熱環境 z. その他
	9. 湿気	a. 熱・水分移動理論・解析手法 b. 湿気物性 c. 物質移動(塩類等) d. 吸放湿・調湿 e. 結露 f. 防湿 g. 測定技術 h. 雨・防水 i. 凍害・塩害 j. カビ・微生物 k. 湿害 l. 緑化 m. 蒸発冷却 n. 湿度制御機器 o. 人体・健康 p. 文化財保存・保存環境 z. その他
	10. 温熱快適性、温熱生理、健康影響	a. 温熱要素・指標 b. 温熱感覚・反応 c. 生理量計測(体温、血流、脳波、心拍など) d. 熱的快適・許容範囲 e. 健康影響・熱ストレス・適応 f. 熱的人体モデル g. 温熱環境評価・測定技術 h. 温熱環境制御・シミュレーション i. 衣服・着衣 j. 住宅 k. 非住宅建物(オフィス、学校など) l. 避難施設 m. 不均一空間 n. 屋外・半屋外空間 o. 睡眠環境 p. 入浴環境 q. 労働環境 r. 基準・ガイドライン s. 人間行動と省エネルギー z. その他
	11. 環境共生型建築(建築熱環境デザイン)	a. 地域の気候・風土と建築(パナキュラー建築技術) b. 自然エネルギー・自然エクセルギー利用技術 c. 日射・天空放射・地熱利用の建築デザイン d. 通風・換気・廃熱の建築デザイン e. 自然採光・昼光利用の建築デザイン f. ゼロエネルギー建築(ZEB・ZEH) g. 環境性能向上のためのファサードデザイン(ダブルスキン・緑化・その他) h. 改修による環境改善と運用(断熱改修・その他) i. パッシブデザインを活かす建築設備のデザイン、IoT・AI技術の活用 j. 地域資源の活用・物質循環・省資源(バイオマス・木材・その他) k. 建築環境性能の総合評価(計画・運用・検証) l. 住まい方・住みこなし、使い方・使いこなし(省エネ行動・意識の向上) m. 熱環境適応(適応モデル・適応デザイン) n. 設計のための建築環境デザイン教育 o. 住環境教育 z. その他

		a. 気流・換気量の測定法・実験法 b. 気流・換気量等の現場測定法 c. 室内気流の数値流体 (CFD) 解析手法 d. 屋外気流の数値流体 (CFD) 解析手法 e. 換気回路網などの数値解析手法 f. 換気・空調効率指標による評価手法 g. 吹出し気流・熱上昇流等のモデリング h. 自然換気・通風のモデリング z. その他
12. 空気流動基礎		
13. 空気流動応用		a. 人体周辺気流 b. 室内気流 c. 建物周辺気流・都市気流 d. 住宅の換気・空調 e. 住宅厨房の換気・空調 f. オフィスの換気・空調 g. 学校・病院等の換気・空調 h. 業務厨房・工場・クリーンルーム等の換気・空調 i. 大空間の換気・空調 j. 通過空間の換気・空調 k. 住宅の自然換気・通風 l. オフィス等の自然換気・ハイブリッド換気 m. 気流・換気の制御 n. 気密性・隙間風 o. 煙流動 z. その他
14. 空気質基礎		a. 空気質の測定法・実験法 b. 空気質の現場測定法 c. 空気質の数値解析手法 d. 空気質基準と必要換気量 e. 空気環境の評価手法 (知的生産性を含む) z. その他
15. 空気質応用		a. 空気質の実態調査 b. ガス状物質による空気汚染とその対策 c. 粒子状物質による空気汚染とその対策 d. 化学物質による空気汚染とその対策 e. ウィルス・微生物による空気汚染とその対策 f. 臭気による空気汚染とその対策 g. 複合的な空気汚染とその対策 h. 空気環境の評価 (知的生産性を含む) i. 空調システムによる空気汚染 j. 自然換気・ハイブリッド換気による空気汚染 k. クリーンルームの清浄化 z. その他
16. 水環境・給排水衛生設備		a. 水辺・親水 b. 水と緑 c. 雨水活用 d. 水質保全 e. 水・湯使用 f. 水まわり g. 給水機器・給水システム h. 給湯機器・給湯システム i. 配管システム j. トイレ・衛生器具 k. 排水機器・排水システム l. 排水処理・排水再利用 m. 廃棄物・バイオマス n. 診断・リニューアル o. LCP・BCP z. その他
17. 空調システム		a. 空調機器 b. 暖房機器 c. 吹出し・吸込みシステム d. 空気搬送システム e. 放射冷暖房システム f. 個別空調システム g. 調湿設備 (デシカントを含む) h. ペリメーター空調 (通風窓など) i. タスク・アンビエント空調 j. 換気設備 k. 空調制御システム l. 温熱・空気環境 m. 実測評価 n. 熱負荷計算 o. システムシミュレーション p. 空調システムの数値解析 (CFD など) q. 省エネルギー r. 空調計画法 s. 空調設計法 t. 空調システムの新技术 z. その他
18. 熱源システム		a. 熱源機器 b. 配管方式・熱搬送システム c. 蓄熱方式 d. コージェネレーション e. 燃料電池 f. 熱源制御システム g. 実測評価 h. システムシミュレーション i. 省エネルギー j. 未利用エネルギー活用システム k. 新エネルギー活用システム l. 排熱利用 m. 熱源計画法 n. 熱源設計法 o. 熱源システムの新技术 z. その他
19. 建築設備応用		a. 住宅の設備 b. 事務所・商業施設の設備 c. 研究所・工場・データセンタの設備 d. 大空間の設備 e. ファサードエンジニアリング f. 建築一体化設備 g. 自然エネルギー利用設備 (太陽光発電・太陽熱・地熱等) h. ゼロエネルギー建築 (ZEB・ZEH) i. 性能評価 (PAL・BEI・LCA・CASBEE 等) j. 環境影響評価 k. コミッショニング l. BEMS m. コストスタディ n. プロダクティビティ o. シミュレーションツール p. メンテナンス q. リニューアル・コンバージョン・ESCO r. 設備教育 s. 設備設計・施工 t. スマートグリッド u. 気象条件 v. ヒューマンファクター w. その他の設備 (電気・照明・昇降機・防災・ガスなど) x. IoT・AI 等 y. 感染症・パンデミック z. その他
20. 都市環境・都市設備		a. 都市環境計画論・都市設備計画論 b. 建築及び都市のエネルギー・水消費 c. エネルギーマネジメントシステム (EMS) d. 地域エネルギーシステム・スマートエネルギーネットワーク e. 未利用エネルギー・再生可能エネルギー活用 f. 環境配慮型都市・低炭素都市 g. スマートシティ・スマートコミュニティ h. 空間データ利用技術 (GIS・リモートセンシング) i. 都市防災・減災・BCP・DCP j. 都市気候実測 k. 都市気候シミュレーション l. 建築外部空間微気候 m. 都市の緑・水辺 n. ヒートアイランド緩和策 o. 暑熱環境適応策 p. 屋外環境の温熱生理・心理 q. 都市の風環境 r. クールルーフ・クールペイジメント z. その他
21. 環境設計		a. 住宅・建築環境設計 b. 地域環境設計 c. 都市環境設計 d. 設計基準 e. 設計技術 (設計プロセス・VR・BIM) f. 環境性能評価 g. 総合・複合環境評価 h. 環境格付 (CASBEE・環境評価法) i. 環境行動 j. 健康 k. 環境バリアフリー・ユニバーサルデザイン l. 住まい方・ライフスタイル m. 建築のエネルギー消費 n. コベネフィット o. 環境教育 p. 環境改修 q. 住民参加 r. 蒸暑地域建築 s. 寒冷地域建築 z. その他
22. サステナブル環境		a. 環境材料 b. 長寿命・高耐久 c. リサイクル・リユース d. 緑化・生態系 e. 木造・木質材料 f. 木材生産・流通 g. ライフサイクルアセスメント (LCA) h. カーボンニュートラル i. 地球温暖化 j. バイオマス k. 循環型社会 z. その他
99. その他		
5. 建築計画	1. 住宅計画	a. 住宅計画論・住宅計画史 b. 住まい方・ライフスタイル c. 集合住宅・集住環境・集落 d. 都市居住・高層居住 e. 地域特性・伝統性 f. 高齢・障害者の住環境 g. 住宅の改善・増改築・リフォーム・コンバージョン h. 街区計画・住宅地計画 i. 団地再生 j. 住宅供給・ハウジング・住宅生産 k. 管理・運営 l. 住宅政策 m. 海外の住居・住宅地 n. その他

	2. 施設計画	a. 地域施設計画論 b. 学校 (学習・生活行動) c. 学校 (空間他) d. 集会・コミュニティ施設 e. 劇場・ホール f. 美術館・博物館 g. 図書館・社会教育施設 h. スポーツ・レクリエーション i. 病院 (病棟) j. 病院 (外来他) k. 高齢者施設 (居住・入所施設) l. 高齢者施設 (地域・通所施設) m. 障害者施設 n. 児童・乳幼児施設 o. 商業・業務施設 p. 複合化・共用・転用 q. その他
	3. 計画基礎	a. 規模計画・配置計画 b. 安全計画・避難・防災・日常災害 c. 空間構成・景観 d. 設計方法・理論・プロセス e. 設計知識・設計情報・支援システム・データベース f. FM・POE・プログラミング g. 機器・設備・家具の寸法・規格 h. 人体・動作寸法 i. 動作特性 j. 行動特性・停留・群集流動 k. 環境心理・環境行動・経路探索 l. 居方・使われ方 m. 感覚・空間知覚・空間認知 n. バリアフリー・ユニバーサルデザイン・ノーマライゼーション環境 o. 情報環境・インターフェース・ロボット p. その他
	4. 構法計画	a. 構法計画理論・各部構法 b. 構法開発 c. 建築改修構法 (リノベーション、リフォームなど) d. 木造構法 e. 構法史・構法の変遷 f. 歴史的構法、風土的構法 g. 構法計画と生産・供給システム h. オープンビルディング i. 構法と情報技術 j. その他
	5. 設計計画	a. 建築設計計画理論 b. 地域設計計画理論 c. 設計計画史 d. まちづくり (地域再生・都市再生)・コミュニティ計画 e. 施設再編・再配置 f. 建築企画・プロジェクト・マネジメント g. 参加・コラボレーション h. 設計主体・設計組織 i. 職能・資格制度 j. 設計教育 k. 法規 l. その他
	99. その他	
6. 農村計画	1. 計画基礎・計画論・地域構造	a. 計画・設計論 b. 田園空間・ラーバンデザイン論 c. 地域構造論 d. 農山漁村計画 e. 国土・広域計画 f. 国土利用・土地利用 g. その他
	2. 住居・生活文化	a. 住様式・住文化 b. 住居空間・デザイン c. 家族・生活構造・ライフスタイル d. リノベーション・空き家活用 e. その他
	3. 集落・集住文化	a. 集落空間 b. 集落居住 c. 地域社会・文化 d. なりわい e. その他
	4. 景観・環境デザイン	a. ルーラルデザイン b. 景観論・風土論 c. 集落・自然景観 d. 景観法・制度・計画 e. 環境資源・環境資産 f. エコシステム g. その他
	5. 地域づくり・地域組織	a. 自治組織・コミュニティ b. NPO・パートナーシップ・協働 c. 制度・手法・計画プロセス d. 住民参加・ワークショップ e. UJI ターン・移住 f. 都市・農村交流・観光 g. その他
	6. 地域施設計画	a. 新設整備・施設再編・再配置・施設複合化 b. 施設保全・利活用・共用・転用 c. その他
	7. 地域包括システム	a. 地域包括ケア b. 高齢者 c. こども d. 障がい e. 交通・モビリティ f. 生活支援 g. 医療・保健 h. その他
	8. 防災・災害復興	a. 災害史 b. 防災 c. 災害実態・避難 d. 復旧 e. 復興 f. 災害支援 g. その他
	99. その他	
7. 都市計画	1. 都市論と都市形成史	a. 都市論 b. 都市計画論 c. 都市形成史・都市計画史 d. その他
	2. 都市像と計画	a. マスタープラン b. 都市圏 c. 土地利用 d. 基幹施設 e. 交通 f. 海外都市計画 g. キャンパス計画 h. その他
	3. 市街地変容と都市・地域の再生	a. 市街地整備・新市街地 b. 再開発 c. 商業地・商業空間 d. 中心市街地 e. 都市再生 f. 街なか再生・街なか居住 g. 都市経営 h. 観光 i. その他
	4. 地区とコミュニティ	a. 住環境 b. 都心居住 c. 地区計画 d. 地区施設 e. 高齢者・福祉 f. その他
	5. 都市環境と防災	a. 環境管理 b. 環境アセスメント c. 地球環境 d. 災害事前対策 e. 災害調査 f. 復旧・復興 g. 防災システム h. その他
	6. 景観と都市デザイン	a. 都市デザイン b. 景観論 c. 景観イメージ・景観評価 d. 景観計画・景観整備 e. 景観管理・まちなみ f. 歴史的景観 g. 自然・緑地 h. 街路・公共空間 i. 空地 j. その他
	7. 制度と行政	a. 都市計画制度 b. 規制・誘導 c. 整備・開発の事業 d. 行政組織 e. その他
	8. 参加と組織	a. 住民参加 b. ワークショップ c. NPO d. プロセス e. まちづくり学習 f. その他
	9. 教育と資格	a. 都市計画・設計教育 b. 資格 c. その他
	10. 調査・評価と計画支援	a. 都市調査・都市解析 b. GIS/CAD/CG c. インターネット d. シミュレーション e. その他
99. その他		
8. 建築社会システム	1. 建築社会システム	a. 統計・情報 (統計作成、統計資料分析、市場分析、情報システム) b. 社会論 (制度、政策、環境問題、資源循環、国際化) c. 産業論 (建設業経営、建設産業論、産業構造) d. 人材論 (資格、職能、労働問題、教育) e. マネジメント論 (建設マネジメント、地域マネジメント、FM、アセットマネジメント、事業継続マネジメント) f. その他

	2.ハウジング	a. 住宅事情・住宅問題（国内・海外住宅事情、地方性・地域性、住宅統計、住宅情報） b. 住宅政策・住宅計画（居住政策、居住権、住生活基本計画・地域住宅計画） c. 居住者・居住要求・住宅需要・住生活（居住者構成、ライフスタイル、住生活、住まい方、住意識・住要求、住宅需要） d. 住宅供給・住宅市場・住宅経済（供給主体、中古住宅流通、住居費・家賃、住宅価格、住宅建設費、地価） e. 居住水準・性能・品質（住居水準、品質確保、性能表示、住宅性能評価） f. 住宅管理・住宅改修・ストック対策（建替、リフォーム、中古住宅活用、ストック活用、マンション・住宅地管理） g. 住まいづくり・まちづくり・組織（NPO、コミュニティ） h. 居住支援・住教育・居住福祉（セーフティネット、高齢者住宅） i. 住まいの安心・安全（住宅防犯、住宅防災、住宅被害、住宅災害復興） j. 居住地・地域構造（居住地特性、郊外住宅地、都心居住、住宅地像） k. その他
	3. 建築生産	a. 建築生産一般（品質確保問題、発注者問題、労働者問題） b. 企画（建築企画、建築プログラミング） c. 発注と契約（入札・契約制度、発注方式、PM、CM） d. 設計と監理（設計、工事監理） e. 施工管理（工程管理、品質管理、コスト管理、労務管理、安全衛生管理、環境管理） f. 施工技術（工法、生産性向上、施工新技術、自動化・機械化、ロボット、解体技術、リサイクル） g. 管理技術（現場 ICT、SCM、BIM、AI、IoT） h. 建築コスト（原価管理、VE 提案、修繕コスト、コスト評価、積算・見積り、調達） i. 人材・技能（建築専門職能、人材育成、教育・訓練、技能継承） j. その他
	4. ストック・資産	a. 事業スキーム・金融（金融・保険・契約・紛争処理・ADR、コスト・プライス、プロジェクトファイナンス・PFI、証券化・デューデリジェンス） b. 施設管理・FM（プロパティマネジメント、施設管理・FM、維持管理、ストック対策・リフォーム・リニューアル・再生コンバージョン） c. 評価（リスク評価・リスク管理、不動産評価・建物評価、ライフサイクル評価・LCC・LCA、コミッションング） d. その他
	99. その他	
9. 建築歴史・意匠	1. 日本建築史 2. 日本近代建築史 3. 東洋建築史（オリエントを含む） 4. 西洋建築史 5. 西洋近代建築史 6. 建築論 7. 意匠論 8. 都市史 9. 保存（保存論、保存技術、建築資料など） 99. その他	
10. 海洋建築	1. 計画・デザイン	a. 土地利用・空間整備計画 b. 施設設計・意匠・原単位 c. 景観計画・評価・デザイン d. 事例調査・プロジェクト報告 e. 安全・防災・避難計画 f. 社会・法制度 g. 歴史・保存・文化的評価 h. 観光・レクリエーション z. その他
	2. 環境	a. 環境計測・評価・調査分析 b. 自然再生・創造・共生 c. 居住環境調査・計画 d. 再生可能エネルギー利用 z. その他
	3. 構造	a. 海洋構造計画・設計 b. 性能評価・検証 c. 自然環境情報・予測および環境荷重 d. 浮体動揺（流体力、係留力を含む） e. 流力弾性（大型浮体、シエルを含む） f. 支持・保持システム（着底式、杭式、アンカー、シンカー等） g. 事例調査 h. 最適化・同定・制御 z. その他
	4. 材料・施工	a. 材料物性 b. 耐海水性・耐久性 c. 施工計画 d. 施工技術 z. その他
	5. 保全・管理	a. 保守・維持管理 b. 解体・再利用計画 z. その他
	6. 津波	a. 荷重 b. 設計 c. 避難 d. 施設 e. 調査 f. 復興 g. 対策 z. その他
	99. その他	
11. 情報システム技術	1. システム化技術 2. 設計システム・CAD・BIM 3. 生産情報システム 4. FM システム 5. 図形処理・画像処理 6. 数値解析・シミュレーション・数理計画・数理統計 7. 知的システム・ソフトコンピューティング・AI 8. 制御・ロボット 9. センシング・モニタリング・IoT 10. 複雑系 11. アルゴリズムデザイン 12. 感性工学 13. デザイン科学 14. データベース 15. GIS 16. 環境・地球環境 17. 教育システム 18. コラボレーション 19. 都市・地域 20. 景観 21. 人間科学 22. 防災 99. その他	
13. 教育	1. 専門教育	a. 設計教育 b. 環境教育 c. 構造教育 d. 材料・構法教育 e. 歴史・保存再生教育 f. 都市計画・まちづくり教育 g. 防災教育 h. 住教育 i. ものづくり・技能教育 j. 倫理教育 k. マネジメント教育 l. 分野融合型教育 m. その他
	2. 対象者別の教育	a. 大学院教育 b. 初学者教育 c. 企業内教育 d. 継続教育・CPD e. 工業高校・工専の教育 f. 市民教育 g. 子ども教育 h. 初等教育・中等教育 i. その他
	3. 教育方法	a. 国際ワークショップ b. コラボレーション c. e-learning・通信教育 d. 情報教育（CAD、BIM など） e. 体験型授業・実践教育・PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング、プロブレム・ベースド・ラーニング） f. スタジオ教育 g. 教材 h. その他
	4. 制度や資格	a. 教育制度 b. 海外の教育 c. インターンシップ d. 資格と教育 e. その他
	99. その他	

## Presentation Category ・ Field

Category	Field	
	Detailed	Less Detailed
1. Building Materials and Construction	1. Concrete Materials	a. セメント b. 骨材 c. 水 d. 化学混和剤 e. 混和材 f. 繊維・新素材 g. その他
	2. Properties of Mortar/Concrete	a. フレッシュ時の物性 b. セメント硬化体の組織構造 c. 強度・力学的性質 d. 収縮・クリープ e. アルカリシリカ反応 f. 凍害 g. 中性化 h. 腐食・防食 i. 汚れ j. 耐久性一般 k. その他
	3. Reinforced Concrete Works , Management	a. 鉄筋工事 b. 型枠工事 c. かぶり厚さ d. 打込み・打継ぎ e. 養生 f. 試験・検査法 g. 寒中コンクリート工事 h. 暑中コンクリート工事 i. その他
	4. Special Concrete	a. 軽量コンクリート b. 流動化コンクリート c. 高流動コンクリート d. 高強度コンクリート e. プレストレストコンクリート f. プレキャストコンクリート g. マスコンクリート h. 水密コンクリート i. 海水の作用を受けるコンクリート j. 水中コンクリート k. 凍結融解作用を受けるコンクリート l. 遮蔽用・原子力発電所施設用コンクリート m. ポリマーセメントコンクリート n. 再生骨材・再生コンクリート o. 繊維補強コンクリート p. CFT コンクリート q. 環境対応型コンクリート r. その他
	5. Inorganic Materials, Method, and Works	a. メーソソリナー b. 石・張り石工事 c. 左官 d. タイル e. ALC・成形セメント板 f. ガラス g. 汚れ h. その他
	6. Steel Fabrication, Steel Works, Metallic Materials	a. 鋼材 b. 高力ボルト・ボルト・アンカーボルト c. 金属材料 d. 溶接材料、溶接条件・施工 e. 溶接ロボット f. 加工・製作 g. 工事現場接合 h. 工事現場施工 i. 鉄骨構法 j. 金物工事 k. 塗装・めっき l. 耐火被覆 m. 試験・検査法 (非破壊検査・寸法精度検査) n. その他
	7. Organic Materials, Method, and Works	a. 木材・木質系材料 b. 木工事 c. 塗料 d. 塗装工事 e. プラスチック f. その他
	8. Waterproofing Materials, Method, and Works	a. メンブレン防水材 b. シーリング材 c. 防水設計・施工 d. 雨仕舞 e. その他
	9. Construction Works, Quality Control	a. 工程計画・管理 b. 品質管理 c. 安全管理 d. 生産性 e. その他
	10. Temporary Works, Earth Retaining Works	a. 仮設計画 b. 仮設工事 c. 仮設機械 d. 山留工事 e. その他
	11. Earth Works, Foundation Works	a. 土工事 b. 地業工事 c. その他
	12. Construction Machinery, Robotics	a. 機械・ロボット開発 b. 工業化工夫 c. 自動化工夫 d. 情報化施工 e. 解体・リニューアル工夫 f. その他
	13. Durability Plan, Durability Design	a. 建築物の長寿命化・耐用年数 b. 材料・部材の高耐久化・耐用年数 c. 耐用年数予測手法 d. 耐久計画・耐久設計例 e. その他
	14. Renovation, Maintenance	a. 維持保全計画・維持管理 b. 試験方法・調査・診断 c. 鉄筋コンクリート造躯体の補修・改修 d. 鉄骨造躯体の補修・改修 e. 木造躯体の補修・改修 f. 仕上材の補修・改修 g. 防水の補修・改修 h. 補修・改修事例 i. その他
	15. Demolition	a. 解体工事 b. その他
	16. Global Environment, Natural Resources	a. エコマテリアル b. リサイクル・リユース c. 廃棄物・バイオマス d. ライフサイクルアセスメント (LCA) e. 環境配慮・低炭素 f. ジオポリマー g. その他
	17. Materials, Finishing and Performance Evaluation of Elements	a. 屋根 b. 外壁 c. 内装 d. 床 e. 開口部 f. 断熱・遮熱材料 g. 吸音・遮音材料 h. 汚れ i. その他
	99. Others	
	2. Structures	1. 荷重・信頼性
2. 振動		a. 地震被害・震害評価 b. 震源・伝播特性 c. 地盤震動 d. 強震動予測・設計用地震動 e. 被害予測・地震防災 f. 動的相互作用・杭基礎応答 g. 建物応答特性とその評価 h. 振動実験・観測 i. 免震 j. 制振・制震 k. ヘルスモニタリング l. その他
3. 応用力学・構造解析		a. 力学基礎理論 (変分原理・エネルギー原理・連続体・離散系・構造要素・構造物・熱関連問題) b. 数値解析法 (FEM・BEM・モード重量法・剛体ばねモデル) c. 波動・振動解析法 d. 流れ場解析法 e. 材料の力学 (構成則・破壊力学・マイクロメカニクス・材料工学) f. 臨界現象・限界状態の力学 (安定論・座屈解析・分岐理論・極限解析・非線形解析・崩壊挙動解析) g. 設計力学・理論 (最適設計・応答制御設計・形態解析・システム数値) h. 逆問題 (システム同定) i. 確率論・信頼性解析 j. 構造計画 k. 架設計画 (施工計画) l. 衝撃解析・設計



4. 基礎構造	a. 土の性質・調査 b. 地盤改良 c. 地盤の支持力 d. 連続地中壁 e. 杭 (鉛直) f. 杭 (水平) g. 併用基礎 h. 沈下 i. 液状化 j. 動的問題 k. 地盤アンカー l. 山留め m. 地盤環境問題 n. 小規模建築物基礎 o. その他
5. 原子力プラント	a. 耐震設計 b. 振動試験 c. 地震観測 d. 免震・制振設計 e. 免震・制振実験 f. 構造設計 g. 構造実験 h. SC 構造 i. CCV j. 廃炉技術 k. その他
6. シェル・空間構造	a. シェル構造 b. 立体トラス・立体骨組構造 c. 膜構造 d. ケーブル・ハイブリッド構造 e. 構造イノベーション f. 構造デザイン・構造形態創生 g. ガラス・木・紙・その他の新素材 h. 集客施設の天井・非構造物 i. その他
7. 木質構造	[材料・部材] a. 材料特性 b. 部材性能 [耐久性] c. 腐朽・蟻害 [接合部] d. 接合具 e. モーメント抵抗接合部 f. 継手・仕口 g. 柱頭柱脚接合部 [耐力壁] h. 筋かい壁 i. 面材壁 j. 土塗り壁 k. 板壁・面格子壁 [屋根・床] l. 屋根構面 m. 床構面 [基礎関係] n. 基礎・転倒 [大規模木造] o. 大規模木造 [新工法] p. 新工法・特殊構法 [実大建物挙動] q. 実大静加力実験 r. 振動台実験 s. クリープ・振動障害 t. 静的立体・振動解析 [免震・制振] u. 免震・制振 [設計法] v. 荷重・応答予測法 w. 部位設計法 x. 耐震設計法 [調査] y. 被害調査 z. 実情・実態調査 [伝統構法] A. 伝統部位・構造要素 B. 伝統建築物特性・設計法 [診断補強] C. 住宅耐震診断・補強 D. 伝統建築耐震診断・補強 [その他] E. 地球環境問題 F. その他
8. 鉄筋コンクリート構造	[材料] a. コンクリート b. 鉄筋 c. 新素材 [基本特性] d. 継手 e. 付着・定着 f. セン断 g. 構成則・解析法 h. あと施工アンカー・スタッド i. その他 [部材 (プレキャストを含む)] j. 梁 k. 柱 l. 耐震壁 m. スラブ n. 非構造壁 [接合 (プレキャストを含む)] o. 梁柱接合部 (交差部) p. 部材接合部 q. その他 [骨組・構法 (プレキャストを含む)] r. 骨組 s. 設計・性能評価 t. 解析法 u. 免震・制震・制振 v. 基礎・杭・杭頭接合部 w. 相互作用 (基礎と上部構造等) x. その他 [既存建物] y. 震害 z. 耐震診断 A. 耐震改修・空間拡大 B. 耐震補強 (柱・梁・接合部・その他) C. 耐震補強 (壁・ブレース) D. 耐震補強 (外付け・架構) E. 免震・制震補強 [その他] F. 地球環境問題 (3R・CO <sub>2</sub> ) G. 型枠・施工法 H. その他
9. プレストレストコンクリート構造	[材料] a. 材料・新素材 [部材] b. 梁・柱・壁 c. 合成部材 (合成スラブ) d. アンボンド部材 e. プレキャスト部材 f. プレストレスト鉄筋コンクリート (PRC) 部材 g. PC 杭 [ひび割れ] h. ひび割れ評価および制御 [接合] i. 梁柱接合部 (仕口部) j. 圧着接合部 k. 部材接合部 l. 定着部 [骨組・構法] m. 新構工法 n. 組み立て (PCaPC) 架構 [設計・解析] o. 動的挙動 p. 設計・解析法 q. 弾塑性挙動 [耐震補強] r. プレストレスを用いた耐震補強工法 [その他] s. 地球環境問題 (長寿命建築) t. 耐火性 (架構・部材・材料) u. 施工 v. 施工管理手法 w. その他
10. 鉄骨構造	[設計法] a. 設計法 [素材特性] b. 素材特性 [接合要素] c. ボルト・高力ボルト d. 溶接 e. その他 [接合部] f. 柱梁接合部 g. パネル h. 継手 i. 柱脚 j. トラス接合部 k. その他 [部材] l. 引張材 m. 圧縮材 n. 梁材 o. 柱材 p. 床材 q. 2次部材 r. その他 [耐震要素] s. ブレース t. 耐震壁 u. その他 [骨組] v. 平面骨組 w. 立体骨組 x. 振動 y. その他 [製作・施工法] z. 耐震補強 [その他] A. 地球環境問題 B. その他
11. 壁式構造・組積造	a. 設計法・解析法 b. 壁式鉄筋コンクリート造 (プレキャストを含む) c. 鉄筋コンクリート組積造 d. 補強組積造 e. 枠組組積造 f. 混合構造 g. 無筋組積造 (れんが造・石造等) h. コンクリートブロック塀・その他の塀 i. 耐震診断・補強・躯体改造 j. 免震 k. 地震被害・その他の被害 l. 地球環境問題 m. 海外の組積造 n. 厚肉床壁構造 o. モニタリング・動的相互作用 p. 新素材・新構法 q. その他

	12. 鋼・コンクリート合成構造	a. 鋼・コンクリート合成構造全般（震害・設計法・解析法・構造計画・免震・制震・地球環境・その他） b. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 c. 鋼管コンクリート構造 d. 混合構造（柱 RC 梁 S 構造・端部 RC 中央 S 梁等） e. 鉄骨コンクリート構造（CES 構造・SC 柱・SC 梁等） f. 鋼・コンクリート合成パネル（SC 壁・合成パネル・サンドイッチパネル等） g. FRP や木質材料等を用いた合成構造（FRP 構造・木質複合構造・繊維補強コンクリート等） h. 耐震診断・補強（鋼材を用いたコンクリート系構造物の補強を含む） i. 鋼材とコンクリートの接合部 j. その他の合成構造（座屈拘束ブレース、合成床等）
	99. その他	
3. Fire Safety	1. Materials	a. Combustion behavior of materials b. Combustion behavior of goods c. Test methods d. Others
	2. Fire Physics & Smoke Movement	a. Fire plumes b. Compartment fires c. Fully-developed compartment fires & ejected flame d. Smoke movement e. Smoke control f. Others
	3. Evacuation Safety	a. Awareness of a fire and evacuation start b. Evacuation behavior c. Evacuation simulation d. Evacuation design methods e. Others
	4. Fire Resistance	a. Metal structures & materials b. Reinforced concrete structures & materials c. Timber structures & materials d. Composite & other structures & materials e. Fire compartment members f. Fire resistant design g. Fire resistant test methods h. Diagnosis and repair of fire-damaged buildings i. Others
	5. Fire-Protection Equipment	a. Detection, alarm & communications b. Fire control measures c. Emergency exit signs & fire escape apparatus d. Firefighting support equipment e. Others
	6. Fire Safety Design & Evaluation	a. Fire incidents & statistics b. Fire risk assessment c. Fire safety design methods d. Comprehensive disasters prevention plan e. Others
	7. Urban Fire & Wide-Area Disaster	a. Behavior of urban fires b. Wide-area evacuation c. Disaster response d. Others
	99. Others	
4. Environmental Engineering	1. Environmental Psychology and Physiology	a. Sensation and perception (Acoustic, thermal, visual, olfactory and combined environment) b. Physiological value evaluation (EEG, HR etc.) c. Perception and impression of space d. Landscape, townscape and soundscape e. Space cognition and wayfinding f. Personal space and privacy g. Users' needs, sense of value and lifestyle h. POE (Degree of satisfaction, productivity etc.) i. Residential consciousness, community and consensus building j. Children, elderly persons and handicapped persons k. Theories and methods z. Others
	2. Indoor Sound Environment and Room Acoustics	a. Room acoustics design b. Room acoustics theory c. Computer simulation (Indoor) d. Acoustic material, structure (Absorption, diffusion) e. Subjective evaluation f. Speech transmission, privacy g. Sound environment survey and evaluation (Indoor) z. Others
	3. Outdoor Sound Environment	a. Sound environment survey and evaluation (Outdoor) b. Sound source (Outdoor) c. Sound propagation (Outdoor) d. Low frequency sound (Outdoor) e. Computer simulation (Outdoor) z. Others

	4. Building Acoustics	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Sound source (In and around building)</li> <li>b. Sound propagation (In and through building)</li> <li>c. Sound insulation</li> <li>d. Sound insulation material, structure</li> <li>e. Structure borne sound, vibration isolation</li> <li>f. Floor impact sound</li> <li>g. Air flow noise, duct noise</li> <li>h. Low frequency sound (Indoor)</li> <li>i. Noise evaluation (Indoor)</li> <li>j. Computer simulation (Building)</li> <li>z. Others</li> </ul>
	5. Environmental Vibration	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Vibration source</li> <li>b. Excitation force</li> <li>c. Ground vibration</li> <li>d. Vibration propagation</li> <li>e. Building vibration, floor vibration</li> <li>f. Control of vibration (Vibration damping, vibration control, vibration isolation etc.)</li> <li>g. Vibration prediction, vibration analysis</li> <li>h. Vibration sensation, performance evaluation</li> <li>i. Vibration experiment, measurement method</li> <li>j. Design method</li> <li>k. Vibration countermeasure, vibration reduction</li> <li>z. Others</li> </ul>
	6. Light, Lighting and Color	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Light sources (Daylight, electric light, light emitting diode, organic electroluminescence)</li> <li>b. Light control, lighting system</li> <li>c. Daylighting</li> <li>d. Photometry, colorimetry</li> <li>e. Calculation (Simulation, building information modeling)</li> <li>f. Practical field measurement, survey</li> <li>g. Health, physiological characteristics</li> <li>h. Vision, color vision</li> <li>i. Older people, low vision</li> <li>j. Glare, visibility, performance</li> <li>k. Perceived brightness, mood, impression</li> <li>l. Color, texture</li> <li>m. Sign, conspicuity</li> <li>n. Landscape</li> <li>o. Lighting design</li> <li>p. Mood lighting</li> <li>q. Energy savings (Zero energy building, zero energy house)</li> <li>z. Others</li> </ul>
	7. Electromagnetic Environment, Electric Equipment and Technologies Applying Electromagnetic Wave	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Basic theory</li> <li>b. Measurement evaluation (Shielding specification evaluation, electromagnetic environmental measurement method, etc.)</li> <li>c. Electromagnetic environment (ICT/IoT wireless communication environment, wireless communication security, etc.)</li> <li>d. Magnetic environment (Low frequency electromagnetic field, the middle frequency band utilization, wireless power supply, wireless power transmission, etc.)</li> <li>e. Materials construction</li> <li>f. Line noise (PLC, line noise, etc.)</li> <li>g. Lightning protection (Electrical grounding, electrical insulation, etc.)</li> <li>h. Radiation environment</li> <li>i. Education and diffusion of electromagnetic environment</li> <li>z. Others (Technologies applying electromagnetic wave, etc.)</li> </ul>
	8. Heat	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Basis of heat transfer, analysis of heat transfer</li> <li>b. Properties of heat transfer</li> <li>c. Measurement technology</li> <li>d. Weather data</li> <li>e. Thermal insulation</li> <li>f. Thermal shield, solar heat gain</li> <li>g. Heat storage, cool storage</li> <li>h. Evaporative cooling</li> <li>i. Cross ventilation, ventilation</li> <li>j. Air tightness, air infiltration</li> <li>k. Thermal-energy performance of building components and building elements</li> <li>l. Thermal-energy performance of residential buildings</li> <li>m. Thermal-energy performance of non-residential buildings</li> <li>n. Heat load analysis</li> <li>o. Thermal performance evaluation, evaluation indices of thermal environment</li> <li>p. Thermal environment simulation</li> <li>q. Thermal environment of residential buildings</li> <li>r. Thermal environment of non-residential buildings</li> <li>s. Outdoor and semi-outdoor thermal environment</li> <li>z. Others</li> </ul>

	9. Moisture	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Heat and moisture transfer theory, method of analysis</li> <li>b. Moisture property</li> <li>c. Mass transfer (Salt etc.)</li> <li>d. Moisture absorption and desorption, moisture buffering</li> <li>e. Condensation</li> <li>f. Moisture-proof</li> <li>g. Measurement technique</li> <li>h. Precipitation, waterproof</li> <li>i. Frost damage, salt damage</li> <li>j. Mould, microorganism</li> <li>k. Moisture damage</li> <li>l. Greening</li> <li>m. Evaporative cooling</li> <li>n. Moisture control apparatus</li> <li>o. Human body and health</li> <li>p. Conservation of cultural properties, environment for preservation</li> <li>z. Others</li> </ul>
	10. Thermal comfort, thermophysiology and health effects	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Thermal environmental factor and index</li> <li>b. Thermal sensation and response of human</li> <li>c. Physiological measurement (Body temperature, blood flow, EEPH, heart rate, etc.)</li> <li>d. Thermal comfort zone and acceptable range</li> <li>e. Health effects, thermal stress and adaptation</li> <li>f. Human thermal model</li> <li>g. Evaluation and measurement methods for thermal environment</li> <li>h. Thermal environment control and simulation</li> <li>i. Clothes</li> <li>j. Residential building</li> <li>k. Non-residential building (Office, school, etc.)</li> <li>l. Evacuation facility</li> <li>m. Thermally asymmetrical space</li> <li>n. Outdoor and semi-outdoor space</li> <li>o. Sleep and bed climate</li> <li>p. Bathing environment</li> <li>q. Working environment</li> <li>r. Standards and Guidelines</li> <li>s. Human behavior and energy conservation</li> <li>z. Others</li> </ul>
	11. Passive and Bio-climatic Architecture (Thermal Environment Design)	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Bioclimatic architectures (Technology of vernacular architectures)</li> <li>b. Natural exergy, natural energy</li> <li>c. Passive and bioclimatic design (Radiation, solar and sky radiation, ground heat)</li> <li>d. Passive and bioclimatic design (Ventilation)</li> <li>e. Passive and bioclimatic design (Daylight)</li> <li>f. Zero Energy Building (ZEB), Zero Energy House (ZEH)</li> <li>g. Facade, building envelope design (Double skin, green buildings, others)</li> <li>h. Environmental renovation and management</li> <li>i. Integrating passive and active technologies, IoT and AI technologies</li> <li>j. Utilization of regional resources, material cycle (Biomass, wood, others)</li> <li>k. Evaluation of building environmental performance</li> <li>l. Operation, lifestyle, and behavior</li> <li>m. Thermal adaptation, adaptive model</li> <li>n. Education for built environmental design</li> <li>o. Education for living environment</li> <li>z. Others</li> </ul>
	12. Fundamentals of Air Movement	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Measuring, experimental method of air flow, ventilation rate</li> <li>b. Field measuring method of air flow, ventilation rate</li> <li>c. CFD analysis method of indoor air flow</li> <li>d. CFD analysis method of outdoor air flow</li> <li>e. Numerical analysis method such as airflow network calculation</li> <li>f. Evaluation method by ventilation, air conditioning efficiency indices</li> <li>g. Modelling of diffused air, thermal plume</li> <li>h. Modelling of natural ventilation, cross-ventilation</li> <li>z. Others</li> </ul>
	13. Applications of Air Movement	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Air flow around human body</li> <li>b. Indoor air flow</li> <li>c. Air flow around buildings and in urban areas</li> <li>d. Residential ventilation and air conditioning</li> <li>e. Ventilation and air conditioning of residential kitchen</li> <li>f. Ventilation and air conditioning of offices</li> <li>g. Ventilation and air conditioning of schools and hospitals</li> <li>h. Industrial ventilation and air conditioning</li> <li>i. Ventilation and air conditioning of large spaces</li> <li>j. Ventilation and air conditioning of unoccupied spaces</li> <li>k. Residential natural ventilation and cross-ventilation</li> <li>l. Natural and hybrid ventilation of offices</li> <li>m. Control of air flow and ventilation</li> <li>n. Air tightness and infiltration</li> <li>o. Smoke flow</li> <li>z. Others</li> </ul>

	14. Fundamentals of Indoor Air Quality	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Measuring and experimental method of air quality</li> <li>b. Field measuring method of air quality</li> <li>c. Numerical analysis method of air quality</li> <li>d. Air quality standard and required ventilation rate</li> <li>e. Evaluation method of air environment (Including intellectual productivity)</li> <li>z. Others</li> </ul>
	15. Applications of Indoor Air Quality	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Field survey of air quality</li> <li>b. Air pollution by gaseous matter and its control</li> <li>c. Air pollution by particulate matter and its control</li> <li>d. Air pollution by chemical contaminants and its control</li> <li>e. Air pollution by virus and microbes and its control</li> <li>f. Air pollution by odor and its control</li> <li>g. Complex air pollution and its control</li> <li>h. Evaluation method of air environment (Including intellectual productivity)</li> <li>i. Air pollution by HVAC systems</li> <li>j. Air pollution by natural and hybrid ventilation</li> <li>k. Contamination control of cleanrooms</li> <li>z. Others</li> </ul>
	16. Water Environment and Plumbing System	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Waterfront, waterside amenity</li> <li>b. Water and green</li> <li>c. Rainwater harvesting</li> <li>d. Water quality control</li> <li>e. Cold and hot water use</li> <li>f. Wet area</li> <li>g. Water supply system</li> <li>h. Hot water supply system</li> <li>i. Piping system</li> <li>j. Sanitary appliances</li> <li>k. Drainage system</li> <li>l. Waste water treatment, waste water reuse</li> <li>m. Waste, biomass</li> <li>n. Diagnosis, renewal</li> <li>o. Life continuity plan, business continuity plan</li> <li>z. Others</li> </ul>
	17. HVAC System	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. HVAC equipment</li> <li>b. Heating equipment</li> <li>c. Air diffuser and inlet</li> <li>d. Air distribution</li> <li>e. Radiant heating and cooling</li> <li>f. Individual air-conditioning</li> <li>g. Humidification and dehumidification</li> <li>h. Perimeter air-conditioning</li> <li>i. Task and ambient air-conditioning</li> <li>j. Ventilation</li> <li>k. Control system</li> <li>l. Thermal environment and IAQ</li> <li>m. Field survey</li> <li>n. Heat load calculation</li> <li>o. System simulation</li> <li>p. Numerical analysis of HVAC system</li> <li>q. Energy conservation</li> <li>r. Planning of HVAC system</li> <li>s. Design of HVAC system</li> <li>t. New technology</li> <li>z. Others</li> </ul>
	18. Heat Source System	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Heat source equipment</li> <li>b. Heat distribution</li> <li>c. Heat storage</li> <li>d. Cogeneration</li> <li>e. Fuel cell</li> <li>f. Heat source control</li> <li>g. Field survey</li> <li>h. System simulation</li> <li>i. Energy conservation</li> <li>j. Unused energy utilization</li> <li>k. New energy utilization</li> <li>l. Waste heat utilization</li> <li>m. Planning of heat source system</li> <li>n. Design of heat source system</li> <li>o. New technologies</li> <li>z. Others</li> </ul>

	19. Applied Building Service	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Residential building</li> <li>b. Commercial building</li> <li>c. Laboratory, factory, data center</li> <li>d. Large space building</li> <li>e. Façade engineering</li> <li>f. Building integrated equipment</li> <li>g. Natural energy utilization</li> <li>h. ZEB, ZEH</li> <li>i. Performance assessment</li> <li>i. Environmental impact assessment</li> <li>k. Commissioning</li> <li>l. BEMS</li> <li>m. Cost analysis</li> <li>n. Productivity</li> <li>o. Simulation tool</li> <li>p. Maintenance</li> <li>q. Renewal, conversion, ESCO</li> <li>r. Education</li> <li>s. Design and construction of equipment system</li> <li>t. Smart grid</li> <li>u. Climatic design conditions</li> <li>v. Human factor</li> <li>w. Other facilities</li> <li>x. IoT, AI</li> <li>y. Infection, pandemic</li> <li>z. Others</li> </ul>
	20. Urban Environment, Urban Infrastructure	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Urban environmental and infrastructure planning</li> <li>b. Energy and water consumption of buildings and cities</li> <li>c. Energy management system (EMS)</li> <li>d. Regional energy system, Smart energy network</li> <li>e. Unused energy, renewable energy utilization</li> <li>f. Environmentally conscious city, low carbon city</li> <li>g. Smart city, smart community</li> <li>h. Spatial data utilization technology (GIS, remote sensing)</li> <li>i. Urban disaster prevention and reduction, BCP・DCP</li> <li>j. Urban climate measurement</li> <li>k. Urban climate simulation</li> <li>l. Micro climate in outdoor spaces</li> <li>m. Green and water in urban spaces</li> <li>n. Mitigation of urban heat island</li> <li>o. Adaptation for thermal environment</li> <li>p. Human physiology and psychology in outdoor spaces</li> <li>q. Wind environment in urban spaces</li> <li>r. Cool roof and pavement</li> <li>z. Others</li> </ul>
	21. Environmental Design	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Housing, building environmental design</li> <li>b. Regional environmental design</li> <li>c. City environmental design</li> <li>d. Design standard</li> <li>e. Design technologies (Process, VR, BIM etc.)</li> <li>f. Environmental performance assessment</li> <li>g. Comprehensive, multiple environmental assessment</li> <li>h. Environmental labeling (CASBEE etc.)</li> <li>i. Environmental-friendly actions</li> <li>j. Health</li> <li>k. Environmental barrier-free, universal design</li> <li>l. Lifestyle, way of living</li> <li>m. Energy consumptions</li> <li>n. Co-benefits, multi-benefits</li> <li>o. Environmental education</li> <li>p. Environmental retrofit, renovation</li> <li>q. Citizen participation, public involvement</li> <li>r. Buildings for hot and humid climate</li> <li>s. Buildings for cold climate</li> <li>z. Others</li> </ul>
	22. Sustainable Environment	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Environmental materials</li> <li>b. Long-life, high durability</li> <li>c. Recycle, reuse</li> <li>d. Greening, ecosystem, biodiversity</li> <li>e. Timber structure, wood materials</li> <li>f. Timber production, wood distribution</li> <li>g. Lifecycle assessment (LCA)</li> <li>h. Carbon-neutral</li> <li>i. Global warming, climate change</li> <li>j. Biomass</li> <li>k. Recycling society, economy</li> <li>z. Others</li> </ul>
	99. Others	

5. Architectural Planning and Design	1. Housing	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Housing theory, history of housing</li> <li>b. Way of dwelling, dwelling, lifestyle</li> <li>c. Condominium, multiple dwelling house, living environment of collective dwelling, settlement</li> <li>d. Urban dwelling, high rise dwelling</li> <li>e. Regional characteristic, tradition</li> <li>f. Living environment of older persons and persons with disabilities</li> <li>g. Improvement of the house, remodel, renovation and extension, conversion</li> <li>h. Urban district planning, planning of housing area</li> <li>i. Regeneration of housing complex</li> <li>j. Housing supply, housing, housing production</li> <li>k. Management, administration</li> <li>l. Housing policy</li> <li>m. Overseas house, overseas house area</li> <li>n. Others</li> </ul>
	2. Facility Planning	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Planning theory of facility in community</li> <li>b. School (Learning and activity)</li> <li>c. School (Space)</li> <li>d. Community center</li> <li>e. Theater and hall</li> <li>f. Museum</li> <li>g. Library and social education facility</li> <li>h. Sports and recreation facility</li> <li>i. Hospital (Ward)</li> <li>j. Hospital (Outpatient area)</li> <li>k. Nursing home for the elderly</li> <li>l. Day care facility for the elderly</li> <li>m. Facility for the disabled</li> <li>n. Facility for children and nursery</li> <li>o. Shop and office</li> <li>p. Complex, share and conversion</li> <li>q. Others</li> </ul>
	3. Fundamental Theories in Planning and Design	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. scale, size, volume, capacity and site planning</li> <li>b. safety planning, evacuation, disaster prevention, building related accident</li> <li>c. spatial composition and structure of architecture, townscape and landscape</li> <li>d. design method, theory and process</li> <li>e. design knowledge, information, support system and database</li> <li>f. facility management, post-occupancy evaluation and facility programming</li> <li>g. scale, size and design standard of facilities, equipment and furniture</li> <li>h. measure of human body, activity dimension</li> <li>i. features of motion</li> <li>j. behavioral characteristics, crowd movement</li> <li>k. environmental psychology, environmental behavior, wayfinding</li> <li>l. mode of being, mode of usage</li> <li>m. space sensation, space perception, space cognition</li> <li>n. barrier-free, universal design and environment normalization</li> <li>o. information environment, interface, robot</li> <li>p. others</li> </ul>
	4. Building Construction Planning	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Theory of Building System, Building Construction Method</li> <li>b. Development of Structure System, Development of Construction Method</li> <li>c. Construction Method for Improvement (Renovation, Remodeling, Conversion)</li> <li>d. Timber Construction System</li> <li>e. Building Construction History, Transition of Building System</li> <li>f. Traditional Construction Method, Vernacular Construction Method</li> <li>g. Building System Design and Production/Supply System</li> <li>h. Open Building</li> <li>i. Building System and Information Technology</li> <li>j. Others</li> </ul>
	5. Planning and Design	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. Architectural planning and design theory</li> <li>b. Regional planning and design theory</li> <li>c. Planning and design history</li> <li>d. Community development (Regional revitalization, urban regeneration), community planning</li> <li>e. Reorganization and relocation of facilities</li> <li>f. Building project planning, project management</li> <li>g. Community participation, collaboration</li> <li>h. Design organization</li> <li>i. Design profession, qualification system</li> <li>j. Design education</li> <li>k. Building regulation</li> <li>l. Others</li> </ul>
	99. Others	
6. Rural Planning and Design	1. 計画基礎・計画論・地域構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 計画・設計論</li> <li>b. 田園空間・ラーバンデザイン論</li> <li>c. 地域構造論</li> <li>d. 農山漁村計画</li> <li>e. 国土・広域計画</li> <li>f. 国土利用・土地利用</li> <li>g. その他</li> </ul>

	2. 住居・生活文化	a. 住様式・住文化 b. 住居空間・デザイン c. 家族・生活構造・ライフスタイル d. リノベーション・空き家活用 e. その他
	3. 集落・集住文化	a. 集落空間 b. 集落居住 c. 地域社会・文化 d. なりわい e. その他
	4. 景観・環境デザイン	a. ルーラルデザイン b. 景観論・風土論 c. 集落・自然景観 d. 景観法・制度・計画 e. 環境資源・環境資産 f. エコシステム g. その他
	5. 地域づくり・地域組織	a. 自治組織・コミュニティ b. NPO・パートナーシップ・協働 c. 制度・手法・計画プロセス d. 住民参加・ワークショップ e. UJI ターン・移住 f. 都市・農村交流・観光 g. その他
	6. 地域施設計画	a. 新設整備・施設再編・再配置・施設複合化 b. 施設保全・利活用・共用・転用 c. その他
	7. 地域包括システム	a. 地域包括ケア b. 高齢者 c. こども d. 障がい e. 交通・モビリティ f. 生活支援 g. 医療・保健 h. その他
	8. 防災・災害復興	a. 災害史 b. 防災 c. 災害実態・避難 d. 復旧 e. 復興 f. 災害支援 g. その他
	99. その他	
7. Urban Planning and Design	1. 都市論と都市形成史	a. 都市論 b. 都市計画論 c. 都市形成史・都市計画史 d. その他
	2. 都市像と計画	a. マスタープラン b. 都市圏 c. 土地利用 d. 基幹施設 e. 交通 f. 海外都市計画 g. キャンパス計画 h. その他
	3. 市街地変容と都市・地域の再生	a. 市街地整備・新市街地 b. 再開発 c. 商業地・商業空間 d. 中心市街地 e. 都市再生 f. 街なか再生・街なか居住 g. 都市経営 h. 観光 i. その他
	4. 地区とコミュニティ	a. 住環境 b. 都心居住 c. 地区計画 d. 地区施設 e. 高齢者・福祉 f. その他
	5. 都市環境と防災	a. 環境管理 b. 環境アセスメント c. 地球環境 d. 災害事前対策 e. 災害調査 f. 復旧・復興 g. 防災システム h. その他
	6. 景観と都市デザイン	a. 都市デザイン b. 景観論 c. 景観イメージ・景観評価 d. 景観計画・景観整備 e. 景観管理・まちなみ f. 歴史的景観 g. 自然・緑地 h. 街路・公共空間 i. 空地 j. その他
	7. 制度と行政	a. 都市計画制度 b. 規制・誘導 c. 整備・開発の事業 d. 行政組織 e. その他
	8. 参加と組織	a. 住民参加 b. ワークショップ c. NPO d. プロセス e. まちづくり学習 f. その他
	9. 教育と資格	a. 都市計画・設計教育 b. 資格 c. その他
	10. 調査・評価と計画支援	a. 都市調査・都市解析 b. GIS/CAD/CG c. インターネット d. シミュレーション e. その他
	99. その他	
8. Architectural System and Management	1. Architecture System and Management	a. Statistics and information (Statistics making, statistics document analysis, market analysis, information system) b. Policy and society (Social system, political measures, environmental problems, resource circulation, globalization) c. Industry (Construction industry management, construction industry model, structure of construction industry) d. Human resources (Qualifications, professional ability, labour problems, education) e. Management theory (Construction management, regional management, facility management, asset management, business continuity management) f. Others
	2. Housing	a. Housing conditions, housing problem b. Housing policy, housing program, regional housing plans c. Resident, dweller's demand, dwelling life d. Housing supply, housing market, housing economics e. Housing standard, housing performance, housing quality f. Housing management, maintenance, renovation, housing stock measures g. Organization for housing and community, community development h. Housing support, housing education, housing welfare i. Safety and security in housing j. Residential area, residential districts, area structure k. Others
	3. Building Production and Construction	a. General issue of building production and construction b. Planning/programing c. Contracting and project delivery system d. Design, engineering and supervision e. Site management f. Construction technology and system g. Management technology and system h. Production and construction cost i. Human resources and construction skills j. Others
	4. Building and Property Stock	a. Business scheme, finance b. Facility management, property management, building renovation c. Building evaluation, estimation and appraisement d. Others
	99. Others	



9. History and Theory of Architecture	1. History of Japanese architecture 2. History of Japanese modern architecture 3. History of oriental architecture 4. History of western architecture 5. History of western modern architecture 6. Architectural theory 7. Design theory 8. Urban history 9. Conservation (Theory, technique, archive) 99.Others	
10. Marine Architecture	1. Planning and Design	a. Land utilization and spatial planning b. Facility planning, design and unit requirement c. Landscape planning, evaluation and design d. Case study and report of project e. Safety, prevention and evacuation planning f. Social and/or legal system g. History, preservation and cultural evaluation h. Resort and recreation z. Others
	2. Environment	a. Environmental measurement, estimation and analysis b. Natural restoration, create and symbiosis c. Residential environment research and planning d. Renewable energy z. Others
	3. Structure	a. Marine structural planning and design b. Evaluation of seakeeping and validation c. Information and prediction natural environment and environmental loads d. Motion of floating body (including hydrodynamic force and mooring force) e. Hydroelasticity (including VLFS and shell structure) f. Support and positioning systems (fixed, pile, pier, anchor and sinker) g. Case study h. Optimization, identification and control z. Others
	4. Material and Construction	a. Material property b. Water resistance and durability c. Construction plan d. Construction technology z. Others
	5. Maintenance and Management	a. Maintenance and management b. Removal and reuse plan z. Others
	6. Tsunami	a. Load b. Design c. Evacuation d. Facilities e. Investigation f. Recovery and reconstruction g. Countermeasures z. Others
	99. Others	
11. Information Systems Technology	1. Systematization technology 2. Design system/CAD/BIM 3. Production information system 4. FM system 5. Graphic processing/Image processing 6. Numerical analysis/Simulation/Mathematical programming/Mathematical statistics 7. Intelligent system/Soft computing/AI 8. Control/Robot 9. Sensing/Monitoring/IoT 10. Complex system 11. Algorithmic design 12. Sensibility engineering 13. Design science 14. Database 15. GIS 16. Environment/Global environment 17. Education system 18. Collaboration 19. City/Region 20. Landscape 21. Human science 22. Disaster prevention 99. Others	
13. Architectural Education	1. Special Education	a. 設計教育 b. 環境教育 c. 構造教育 d. 材料・構法教育 e. 歴史・保存再生教育 f. 都市計画・まちづくり教育 g. 防災教育 h. 住教育 i. ものづくり・技能教育 j. 倫理教育 k. マネジメント教育 l. 分野融合型教育 m. その他

	2. Education for Specific Target	a. 大学院教育 b. 初学者教育 c. 企業内教育 d. 継続教育・CPD e. 工業高校・工専の教育 f. 市民教育 g. 子ども教育 h. 初等教育・中等教育 i. その他
	3. Educational Methods	a. 国際ワークショップ b. コラボレーション c. e-learning・通信教育 d. 情報教育 (CAD、BIM など) e. 体験型授業・実践教育・PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング、プロブレム・ベースド・ラーニング) f. スタジオ教育 g. 教材 h. その他
	4. Education System and Qualification	a. 教育制度 b. 海外の教育 c. インターンシップ d. 資格と教育 e. その他
	99. Others	